一九三〇年以後その投資額が如何に變化したか不明であるが、借款に關しては一九三六年に外債整理委員會の設置によつて、數種整理協定が行はれ、その中佛國の關係するものとしては一九三七年湖廣鐵路借款延滯利息整理借款がある。又一九三六年成渝鐵道借款が成立し、更に最近に於ては龍州鐵道借款をはじめ、他方援蔣關係の投資が可成り加つたことを考慮すべきである。序でながらN・D・ハンウエル氏はギ・ラカム氏(Guy Lacam)の計算を引用し、一九三八年の「フア・イースタン・サーヴエイ」(第七卷第十九號)に於て、佛國の對支投資現在額を論じてゐるが、これに據ると

支那財政外債中佛國持分	一、七四〇	百萬法
鐵道借款の內	三六〇	
公共事業投資	四五〇	
雲南鐵道	一、六五〇	
商業投資	二〇〇	
私人の土地所有	六〇〇	
布教團體の土地所有	八〇〇	
合計	五、八〇〇	

であり、總計五十八億法である。これをリーマー教授の推計と比較するに便ならしめる爲め、米弗に換算すると一億六千百萬米弗となり、さきにリーマー教授の計算した一九三〇年末一億九千二百萬米弗より稍々少い。尙ほハンウエル氏は、更に廣州灣設備價格として二千五百萬法及び佛蘭西租界の價格として約八十億法を計上した。これを加算すると總投資額は百三十八億二千五百萬法に達するわけである。

第七章　文化事業投資

佛國の對支文化事業の內容は他の諸國と同じく教會、教育機關、醫療施設、社會施設、博物館、圖書館、研究所、新聞雜誌等であるが、中でも教會は其の傳道事業を中心として教育、醫療、社會事業等をも兼營してゐた。依つて說明の便宜上これ等を宗教的文化事業投資と非宗教的事業投資の二項とに大別して概說しやう。

第一節　宗教的文化事業投資

第一　沿革

一、南京條約以前

佛國の支那に對する關心は、最初は商業的資本的よりも寧ろ宗教的であつたと云へるであらう。されば其の初期に於ては宗教的對支活動が他の何れよりも優位を占めてゐた。

由來佛國は舊教國であるが、舊教が支那に傳へられたのは新教よりも遙かに古く、既に十三世紀の半に二人のフランシスコ團宣教師の支那に來たことが史實に見え、一二九八年他のフランシスコ團の宣教師モンテコルヴィノ(Montecorvino)が始めて支那にカトリツク教會を開いた。然しこれ等は凡ての歷史現象に見られる微視的、前史的現象であつて、其の後

カトリツクの支那傳播は一時中絶し十六世紀末の一五八三年ジエスイト派のマテオ・リチ（利瑪竇）が廣東に開教したのを以て舊教の支那開教の近世的發端とする。利瑪竇は其の後北京に上り、明廷に時計、樂器、萬國地圖等を獻じ、他に乾坤體義、幾何原本、測量法義等の著作をなし、泰西文化の支那輸入に努める所が多く、爲めに支那人士に大いに歡迎され入信者も次第に生じ、利瑪竇が一六一〇年北京に永眠するまでには約二千五百人の支那カトリツク信徒を見るに至つた。然しながら利瑪竇は伊太利人であつて佛國人ではない。從て舊教に依る佛國勢力の對支侵入は十七世紀末の一六八八年公式の佛國ジエスイト教團の耶蘇會士六名フオンタネー（洪若翰）、ルコント（李明）、ヴイスデルー（劉應）、ブーヴエー（白進）、ヂエルビヨン（張誠）等が海上の危險を侵して北京に到着したのを以て嚆矢とする。彼等耶蘇會士は各々學識に富んだ人士であつたから清朝康熙帝に謁見して本來の使命を遂げ、或は京に止まり、或は地方に派遣されて支那傳道に從事する傍支那についての彼等の觀察、研究をフランス科學院に報告して泰西人士に支那に關する新知識を注入し、遂てヨーロツパ學界に於ける支那學誕生の先蹤をなした。

然るに其の後所謂「典禮問題」が起り、ローマ法王の指令と清朝宮廷の基督教政策との間に激烈な確執を生じ、其の爲めに舊教宣教師の支那社會風俗の研究を刺戟してヨーロツパ支那學界に貢獻する所が多かつたが、舊教自體としては頗る窮境に立ち、一八四二年の南京條約締結まで清朝の禁壓方針の下に僅に其の餘喘を保つに過ぎない狀態であつた。加ふるに佛國系のジエスイト教團、パリ海外傳道會（一六八三年支那開教）、ラザリスト教團（一七八四年支那開教）等は本國に於けるフランス大革命の爲めに其の保護者を失ひ教會内部に於ても更に深い困難に遭遇した。

二、十九世紀後半

南京條約の締結に依る廣東以下五港の開港は基督教の對支布教に對し歷史的轉換期をなした。次で一八四四年の黃埔條約に依り佛國は先づ五開港場に於て寺院、學校、病院を建設する權利を獲得し、順次各國列强も宗教布教の自由を獲た。就中一八五八年の天津條約、一八六〇年の同追加條約及一八六五年のベルトミー協約（Berthemy Convention）等に依つてカトリツク布教に關し佛國の獲得した權利は、獨り佛國のカトリツク教士及信徒にも及ぼさるべき廣大な權利であつたから、カトリツク教士及信徒に對してのみならず汎く一般のカトリツクに對する佛國の保護勢力は頗る大きなものがあつた。

素より佛國が支那から得た條約上の權益には各國も最惠國條款として之に均霑することを得たが、佛國の有する特權は佛國公使と總理衙門との間に取りかはされた協諧の形式に依るものであるから、條約外の此の協諧の利益は各國に均霑する權利を與へるものではない。特に當時に於ては佛國はカトリツク教國中支那に公使館を有する唯一の國であつたから、カトリツク教士が支那に布教せん爲めに新しく聖堂を建築するとか、土地を購入するとか、或は内地旅行の爲めに特別の旅行券を支給するとかは、其のカトリツク教士が何れの國籍たるを問はず悉く佛國公使の許可を得べきものであつて、佛國政府も亦カトリツク傳道に關する事件が起る毎に之を自國の對支政策に利用するのを怠らなかつた。斯くの如く佛國の在支カトリツク教團に對する保護權は絶大なものであつて、羅馬法王も支那に於ける佛國の條約及事實上の權利を公認し、支那に於て布教せんとする教士に對しては佛國公使の保護に依るべきを訓令し、支那政府も此の佛國の保護權を條約上認むべきや否やについては確固たる考へを有してをらなかつたが、別に之に關し嚴重抗議の擧に出ず實際上之を承認した狀態であつた。隨つて歐洲の他のカトリツク教國も自國籍のカトリツク教士を佛國の保護から解放したい希望は有つてゐたが、各國教士數は其の數も少なく又自國の對支勢力も佛國のそれに遙かに及ばなかつたので、强ひて佛國の保護下から脫

する利益を認めず却つて佛國に任せて置く方が自國に對して有利であるとしてカトリツク布教に關する保護權は佛國の獨占下に置かれてゐたのである。

然るに當時獨逸政府は對支政策實行の爲めに宣教師を利用しようとし、同國系カトリツク教會スタイル會の教士アンツェル(Jean Baptiste Anzer)が山東省南部の教區を主宰したのに着目し、之を獨逸政府の保護下に置くべく一八八二年在巴里獨逸大使をして爾後支那に於ける獨逸人(宣教師)は獨逸自ら保護に當りたき旨佛國政府に申入れ、續いて一八八八年支那政府と協約して獨逸系カトリツク宣教師の保護權を獲得、仍て一八九〇年アンツェルをしてローマ法王廳に此の權利を認めさせた。これは佛國の保護權の一部剝脫であつて以後獨逸國カトリツク教士は佛國公使から旅行券を受けるのを止め獨逸公使館から之を受けることとなつた。此の變化が事實に於て重大な關係を及ぼしたのは一八九七年山東省に於て獨逸宣教師二名が殺害された際の獨逸政府の態度であつた。この際獨逸政府は自ら進んで清國政府と交涉し、爾後佛國公使館は唯佛國宣教師に關する事項だけを取扱ひ、他國の宣教師に關する事項は其の國の公使に委ねることを通告した。斯くして佛國の在支カトリツク教に關する保護權は事實上消滅するに至り、法文的には一九〇五年の分離令(Separation Act)に依り名實共になくなつたのである。

當時に於ける佛國の在支宗教團體の經濟的援助額は明かでない。由來カトリツクは新教と異なり、必ずしも對支布教費を本國或は羅馬法皇廳に求めず、寧ろ在支カトリツク教會が支那に於て土地、家屋、財產を保有し、之を賃貸して得た利益を布教費として使用し、其の不足額を本國或は羅馬法皇廳より援助する建前となつてゐた。隨つて一八二二年、佛國リオンに成立したカトリツク信仰宣教會(Association de la Propagation de la Foi)は東西兩半球に於ける異人種間にカトリツクの福音を宣傳するのを目的とし、支那に對しては

一八四四年	二八〇、〇〇〇法
一八四五年	三〇四、〇〇〇法
一八五一年	三〇六、〇〇〇法
一八五四年	三一一、〇〇〇法
一八五九年	五四〇、〇〇〇法
一八六七年	六三七、〇〇〇法
一八八二年	八六一、〇〇〇法

の割當をなし、逐年增加の傾向を示した。しかしこれは必ずしも在支佛國系カトリツク團體の全豫算を示したものではなく、寧ろ全豫算の半分よりも更に僅かな費用を示したに過ぎない。大部分は上海其他の開港場に投資した土地家屋の利益を以て其の經營する病院　孤兒院、學校、研究所の經費を賄つてゐたやうである。

宣教の方法に至つても新教の如く或は教育機關に依り、或は醫療傳道に依り、又文書傳道等の方法に依つて大規模に支那民衆に呼びかける方法を採らずに信仰宣傳の狹い途を辿り自ら支那奥地に分け入り、其の風俗習慣に馴染んで個々の支那人をカトリツク信徒に教化するといふ如き地味な方法に依るものであるから、其の教育機關の大部分は初等學校に止め、この階程より次第に信徒志願者を養成しようとする方法を採つた。而して在支カトリツク教團の意を用ひたのは教育施設よりも寧ろ嬰兒殺しの惡慣習の矯正にあつて、其の爲めに孤兒院、遺棄兒童保護院、病院等を營み、科學研究機關としては一八七二年イエズス會が上海郊外徐家滙に設置した大天文臺の如きが顯著なものである。(徐家滙については後述)

三、團匪事變より歐洲大戰迄

團匪事變がカトリツクに及ぼした慘害は甚大であつた。多數の宣教師及信徒は殺害され、建築物の破壞されたものも多數に上つた。しかし此の事變が却つて刺戟となり布教に熱烈の度を加へた結果、一九〇一年より一九一二年までの十一年

間に於けるカトリツクの信徒はそれまでの約倍數に增加するに至つた。素より上述の如くカトリツク教會は新教の福音主義と異なり、必ずしも其の教育活動、醫療活動に依つて基督教の福音宣布の方法を採らず、專ら支那人をカトリツク信仰に入らしめてこれを育てて行くことに主たる目標を置いてゐた爲め、新教の如く世俗の教育、醫療に熱心でなかつた。一九一四年には舊政策を一變して世俗教育に力を注ぐこととしたけれど、其の教育事業は遙かにプロテスタントに及ばなかつた。當時佛國カトリツクの高等教育機關として上海に震旦大學があつた。該大學は初め徐家滙に設立されたもので一九〇八年上海佛租界に移轉し、文、法、理、工、醫の各學部を包含し、米國系プロテスタント大學と拮抗する設備と陣容を整へてゐる。

四、歐洲大戰後

歐洲大戰は佛國在支カトリツク宣教師に重大問題を惹き起した。即ち一九一四年、在支カトリツク教士一千五百人中の約八百五十人（半數以上）がフランス國籍を有してゐたが、其の中の多くが戰線に送られた上、本國よりの送金が激減した爲めに布教上大なる困難に遭着した。東西兩半球の異人種傳道を目的とする上記のカトリツク信仰宣教會の一九一四年の收入は一九一三年に比較すると約三分の二に減じ、支那布教費としての送金もそれだけ減少することになつた。由來カトリツク信仰宣教會は佛國の勢力强く、其の事務所もリオン及パリに置いた程であるが、戰時より戰後に至つて佛國と白耳義が疲弊した爲其の勢力を維持することが出來ず、其のため一九二二年には事務所をローマに移すこととなり、支那教育の恢復にも可成りの困難を嘗めた。此の間米國カトリツクの進出目醒しく、戰後佛國系カトリツクは守勢の位置に立つて今日に至つたのである。

第二　現　狀

一、教　會

カトリツク教會は國家、國境を超越し、世界的公教會を志してゐる爲めに、プロテスタントの如く國家別に依る教派勢力の檢出は頗る困難である。しかし支那に於ける各教區擔當の教會責任者の國籍別は別表の如く明かであるから、之に依つて佛國の宗教勢力を察知することが出來やう。

卽ち之によれば佛國系の主なる教派は

1、ジエスイト會（イエズス會）
2、ラザリスト會
3、パリ外國宣教會

であつて、各々支那布教には古い歷史を有し、ラザリスト會の如きは既に十四世紀初めに支那に足跡を止めてゐる。各宗派の布教區域は支那全土に涉るけれども、北京、上海の近傍を除いては大體廣東、廣西、四川、雲南方面に布教地區を多く有するのは、佛國の政治的經濟的對支侵略過程から考察して興味ある現象である。唯特記すべきは、上海附近の徐家滙に營まれてゐるイエズス會の傳道事業で、これはカトリツクの支那布教に對して典型的規模と設備とを有してゐるものである。

△徐　家　滙

徐家滙は支那に於けるイエズス會の總本山ともいふべき所で、江南傳道本部員の經營に係り佛本國の教會本部と連絡し、主として資金を本國並在留のカトリック教徒及支那官民有志の淨財に仰ぎ、自らも諸種の附屬事業を經營する。其の直接傳道區域は江蘇及安徽兩省であつて、江蘇省に九箇所、安徽省に十箇所の分院を有する。本部に直屬する人口三、五四八人（一九一六年調査）の外に管轄下にある關係尼僧約八百人、教育關係者男六五〇人、女七九三人と謂はれ、宛然支那に於けるローマカトリックの一大教國を形成してゐる。此の地は、もとイエズス會信徒の清國政治家徐克啓所有の古村であつたが、一八四七年イエズス會が此處に大天主堂を建設し、地名も故人に因んで徐家滙としたのに始まる。其の後、天文臺、博物館、各種學校、孤兒院、研究所、附屬工場等相次いで建設され、上海が國際貿易港として繁榮するのと相俟つて一大教國として發達したのである。其の經營事業も左の如く多種多様である。

A、徐家滙の事業
1、天主堂
2、耶蘇會修院
3、修院
a、大修院
b、小修院
4、徐滙中學
5、滙師中學（師範學校）及附屬小學
6、藏書樓（圖書館）（第二節第六參照）
7、天文臺（第二節第六參照）
8、博物館（第二節第七參照）
9、聖母院
a、極亡會女修院
b、獻堂女修院
c、徐滙女子中學
d、聖誕女校
e、啓明女學校
f、聾啞堂
g、幼稚園
h、育嬰堂
i、刺繍裁縫授產場
j、善牧院
k、聖衣院
10、土山灣育嬰堂（孤兒の授產事業）
木工廠、五金廠、鞋作廠、樂器廠、圖書廠、印刷廠、寫眞廠、機器廠
11、施療院
12、孤兒院
13、洋漢兩種印刷所
14、「支那加特力時報」の發行
15、「支那舊教神事報告」發行
16、工藝學校
B、東家渡（租界南市）の事業
1、教會附屬宿舍
2、安老院（養老院）
C、洋涇濱の事業
1、教會會計事務總括所

第七章　文化事業投資

2、慈善事業班修道女の設立にかかるもの
a、歐米女子を教育する學校
b、混血孤兒教育の學校
c、施療院
3、佛租界立小學校
D、虹口の事業
1、カトリック協會
2、聖芳濟學校に於ける尼僧教鞭
3、施療院
E、龍家灣に於ける事業
1、震旦大學
2、セント・アサー病院
3、支那貧民施療醫院
4、施療院
5、同上浦東分院
F、上海隣接地方に於ける事業
1、佘山天文臺分所
2、昆山蔡家濱天文臺分所
3、浦良修道女子宿舍
4、孤兒院收容里子保育

以上が徐家滙の監督經營に係る附屬事業であつて、如何に其の規模の大なるかを想像し得よう。

概觀すれば佛國人經營の教區は支那全土二十四教區に上り、此の教區に働く外人數一、四九〇人（内譯司祭六一二人、助修士二〇三人、修道女六七五人）であつて、信徒數は九八三、九七〇人、即ち大約百萬人の信者が佛國カトリックの管轄下にある譯である。

二、教育施設

教育活動は基督教布教活動の重要な一翼であるが、カトリックは新教（プロテスタント）ほどに該方面の活動は活潑でなく、特に高等教育方面に於てはフランス系のものとしては僅に上海の震旦大學、天津の天津工商學院が存するだけであつて、米國系基督教大學の繁榮に比べると遙に勢力乏しい現狀である。しかし初等教育方面には相當重大關心を持つてゐるようである。

A、初等教育

佛國系初等教育機關數は左の通り

1、高等小學校

	校數	兒童數
男子	六八校	五、六五七名
女子	四八校	三、五一〇名
計	一一六校	九、一六七名

2、尋常小學校

	校數	兒童數
男子	六二七校	三一、五四八名
女子	二七八校	一二、八五二名
計	九〇五校	四四、四〇〇名

此の他簡單にカトリック教義を問答的に教授する公教要理教授があり、これはフランス系のみで三、六七七所、員數七〇、六九五名を數へ、カトリック獨自の布教方法を示してゐる。斯かる初等教育方面へのカトリックの關心は、幼い頃にカトリック教育を施し聽て之を信徒或は志願者として獲得しようとする意圖に外ならないのであつて、これにより一般教育よりも宗教的教育に力を盡すカトリックの方針を看知することが出來よう。

B、中等教育

佛國カトリック系中等教育施設の主なるものは左の如し。

所在地	校名	經營	備考
北京	法文學校	カトリック教會	佛國式に依る中等學校、生徒は支那人
天津	天津工商學院附屬中學校	同	
同	法漢中學校	同	佛語に重點を置く
同	聖功女子中學校	同	
同	究眞中學校	同	
上海	震旦大學附屬中學校、	同	
武昌	私立文學中學校	同	
漢口	私立法漢中學校	同	
同	漢光中學校	中華基督教青年會	
重慶	明誠中學	同・眞原堂	
同	成德女子中學校	同　同	
福州	私立楊光初級商業學校	カトリック教會	

廣東樂育學校	巴里外國傳道會	中等程度

C、高等教育

高等教育施設は震旦大學及天津工商學院とする。

1、震旦大學（Aurora University）

所在上海呂班路二二三、清國光緒二十九年（一九〇三年）イエズス會に依り震旦學院として徐家滙に創立、一九〇八年春徐家滙より上海の現地に移り、民國二十一年、現在の組織に改めた。

學制　イ、法學院（法律學系、政治經濟學系）

ロ、理工學院（數理系、土木工程系、化學工程系、電氣機械系）

ハ、醫學院（普通醫學系、牙醫系）

ニ、附屬高等中學校及初等中學、特別班

修業年限　四箇年　普通醫學系六箇年

經費　三一八、九六七元（中法庚款及イエズス會よりの補助を含む）

生徒數　二二三名（一九三三—三四年）

2、天津工商學院（Hautes Études Industrielles et Commerciales）

所在天津特別一區馬場道　民國十二年（一九二三年）イエズス會に依り工商大學として設立、一九三三年改稱されて現名となる。

學制　イ、工部—橋路系、機械系

ロ、商部—普通商業系、財政銀行系

ハ、附屬初級中學及高級中學

修業年限　四箇年

經費　二二四、〇〇〇元（イエズス會より支給）

生徒數　二四〇名（一九三四—三五年）

三、醫療施設

教會を通じて人間の魂を救ふを主要目的とするカトリック教會では、人間の肉體を救ふ醫療施設は新教ほどに熱心でない。從つて佛國カトリックに於ける病院、施藥所の施設は左程多くなく、養老院と合して八十二ヶ所に過ぎない。其の主なるものは次の如し。

所在	醫院名	經營	摘要
天津	佛國醫院	カトリック教會	一箇年經費八萬餘元、教會並佛租界工部局より毎年約五萬元補助
張家口	若慈院嬰兒診療所	同	受附費五仙にて診療
青島	仁慈堂	同	支那人貧困者殊に癩患者に施療
芝罘	天主堂法國醫院	同	天主堂の補助一萬二千元、佛國政府補助二萬元
漢口	天主堂附設災民巡診施藥所	同	
九江	民國醫院	同	

南昌	南昌法國醫院	カトリック教會	貧困者施療
同	南昌法國婦幼醫院	同	支那人婦女子患者專門
重慶	仁愛堂醫院	同	眞原堂
廣東	中法福美醫院	同	事實上は貧民幼兒の收容所
雲南	若琴醫院	同	

四、社會施設

社會施設中最も力を注いでゐるのは孤兒院及遺棄兒童保護院である。これは死に瀕した幼兒が洗禮を受けると天國に入ることを得るといふカトリック信仰に基くと共に、支那に多く行はれる嬰兒殺しの惡習より幼兒を保護しようとするためでもある。從て教育施設、醫療施設に比べるとカトリックは支那に於て遙に此の方面に力を注ぎ、單に之を孤兒院、或は保護院に收容して宗教教育を施すのみならず、之に職業教育を與へて成人後獨立の生計を營み得るようにする。

佛國カトリック關係の孤兒院數は支那全土に於て九十四箇所、兒童數八、五七九人、遺棄兒童收容數は二四、〇〇〇人を數へる。養老院數は前述の如く病院數と合して八十二箇所に及ぶ。而してこれ等の社會施設の主なるものを擧げれば左の通りである。

所在地	名稱	經營	摘要
宣化	若瑟育嬰堂	カトリック教會	孤兒及貧民嬰兒の撫育
青島	坊子天主教附屬孤兒院	同	
芝罘	天主堂女孤兒院	同	
威海衛	天主堂孤兒院	カトリック教會	
同	天主教施藥所	同	支那人貧困者に對する施藥及簡單な施療をする
上海	上海安老園	同	六十歲以上の貧苦廢疾のため老人を收容
武昌	武昌救濟院	同	育嬰所、殘廢所、養老所、乞食收容所等より成る
同	武昌嬰堂孤兒院	同	
九江	天主堂養濟院	同	養老院と孤兒院とを兼營
鄖縣	天主堂孤兒院	同	
鄖城	同	同	
香港	佛蘭西コンベント孤兒院	同	香港政府補助金平均額七二〇弗

五、圖書館、研究所、博物館

マテオ・リッチが始めて支那にカトリック宣教を開始した際泰西の科學文化を輸入したことが、科學に依る支那とカトリックの媒介に役立つたことは前述の沿革に述べた所である。其の後典禮問題其他のことに刺戟されてカトリックは支那の地理、歷史、風俗等に對する科學的探究心を增し、カトリック教父で支那についての優れた科學的探究を遂げたものが多數ある。これ等の業績が大成されて圖書館、研究所、博物館となつたものが多く、又徐家滙の如く天文臺、博物館の卓絶した施設を擁するものもあり、此の方面に於けるカトリックの文化投資も巨額に達してゐるけれども、これ等の分野は非宗教的方面に於ても又力を注ぐ點であるから、後節非宗教的文化投資の項に於て一括して述べることとした。（第二節、第六、第七參照）

第三　結　論

以上が宗教事業より見た佛國の對支權益であるが、之に幾何の物的投資を投下してゐるかは、事宗教に關する爲めに計數が明かでない。再述せる如くカトリツクの支那ミツシヨン經營の方法は、新教の如く本國よりの送金を以て全部賄ふ方法を以てせず、支那本土に於てミツシヨン所有の土地・家屋に投資し、之から得た利益を以て活動資金とし、病院・施療所・孤兒院・養老院及教育學術施設の維持費としてゐる。リーマー教授は斯かる事業投資的性格を持つ佛國舊教團體の財産を左の如く推算した。

上　海	一九、七八七、二〇〇米弗
天　津	一、二〇〇、〇〇〇〃
漢　口	五〇〇、〇〇〇〃
廣　東	二〇〇、〇〇〇〃
計	二一、七〇七、二〇〇米弗

之に依つても明かな如く、佛國カトリツク團體所有の土地の大半は上海に集中し、特に佛租界に集つて多くの收益を擧げてゐる。勿論上記の推定額中に算入せられない重要項目として、白耳義系商社「義品放款銀行」(Crédit Foncier d'Extrême Orient) に委讓された約二億法の佛國布教團體所有の土地がある。これは嘗て佛蘭西に於て政教分離の行はれた際宗教團體所有の財産が政府に沒收される懸念があつた爲、之を白耳義系の銀行に供托したに由るものであつて、此の土地は引續き同商社の所有に歸してゐた。佛國カトリツク團體は以上の財産の他、尙支那諸省に渉つて幾多の土地を保有して

第三十三表　佛國系在支カトリック勢力

省名	地名	教區名	階級	教區 設定年	教區 擔當者	國籍	司祭 外人	司祭 支那人	助修士 外人	助修士 支那人	神學生 上級	神學生 下級	神學生 小	修道女 外人	修道女 支那人	信者數	孤兒院 院數	孤兒院 男
廣東	廣州	Canton, Tung.	V	一八五八	パリ外國宣教會	スペイン人	一九	三五	一	一	二六	六	一	三五	七二	一七、六七	二	三四
山東	煙臺	Chefoo, Sung.	V	一八四四	フランシスコ會	同	一七	一一	一	一	一〇	四	一	四	三	一一、四三	二	四
四川	重慶	Chungking, Sze.	V	一八六六	同	同	三六	一四	一	一	六	一	一	一四	一	四、六五	一	一
四川	成都	Chengtu, Sze.	V	一八六六	パリ外國宣教會	同	三四	四二	一	一	一四	一	一	七	一	三、三五	八	一〇〇
北河	正定	Chengting, Hop.	V	一八六六	フランシスコ會	同	一四	四四	二	一	一一	一	一	七	一〇	四、四五	四	四六
江西	建昌	Nanchang, Ki.	V	一八六六	パリ外國宣教會	同	一六	一一	一	一	一四	一	一	一四	一	三、三五	八	一〇〇
廣東	南寧	Nanning, Si.	V	一八六六	パラザリスト會	同	一四	一〇	一	一	一四	一	一	一四	一	三、三五	八	一〇〇
浙江	寧波	Ningpo, Che.	V	一八六六	パラザリスト會	同	一三	五	一	一	一四	一	一	一四	一	三、三五	八	一〇〇
廣東	瓊州	Pakhoi, Tung.	V	一八六六	パリ外國宣教會	同	一四	五	一	一	一四	一	一	一四	一	三、三五	八	一〇〇
北東	北京	Peking, Hop.	V	一八六九	パラザリスト會	同	一四	一〇	一	一	一四	一	一	一四	一	三、三五	八	一〇〇
北西	上海	Shanghai,Ku.	V	一八四二	イエズス會	同	一〇一	六四	一一一	一四	一六	一	一	一四	一	三、三五	八	一〇〇
河北	獻縣	Sienhsien, Hop.	V	一八五五	パリ外國宣教會	同	一五	一四	一	一	一四	一	一	一四	一	三、三五	八	一〇〇
四川	順慶府	Suifu, Sze.	V	一八六〇	パリ外國宣教會	同	一一	一一	一	一	一四	一	一	一四	一	三、三五	八	一〇〇
廣東	頭	Swatow, Pong.	V	一八四四	同	同	一六	一一	一	一	一四	一	一	一四	一	三、三五	八	一〇〇
雲南	大理	Tali, Yun.	P	一八五五	ベタラム聖心會	同	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一、一五	一	一
四川	打箭爐	Tatsienlu, Sze.	V	一八六六	パリ外國宣教會	同	一〇	一	一	一	一四	一	一	一四	一	三、三五	八	一〇〇
河北	天津	Tientsin, Hop.	V	一八一一	パラザリスト會	同	一四	一〇	一	一	一四	一	一	一四	一	三、三五	八	一〇〇
雲南	雲南府	Yunnanfu, Yun.	V	一八六六	パラザリスト會	同	一四	一〇	一	一	一四	一	一	一四	一	三、三五	八	一〇〇
計	同	同	同	同	同	同	二一四	一四五	一〇	一一	一三八	一四	一一	一三七	一四	一九、一四五	一〇二	一三六

修道女 外人	二七	四三	七	二七	一四	三	二七	五	一〇	—	一八	九	三三	一三	三	五七	二七〇	三五	一四	一一	六	一〇	四一	三	六七五
修道女 支那人	七三	三二	一三〇	一五	八三	一二	七四	一九	三六	六	三六	三七	八一	三七	五三	一六二	三三二	八五	二五	三	—	五三	七三	四八	一、四七九
信者數	一七、一八七	一一、四三二	四八、四三七	三九、三三三	四〇、四九五	一、八〇二	三八、三〇二	一〇、三三〇	二一、〇〇三	一〇、五一〇	五三、二九一	六、〇三〇	四五、七三三	一一、〇二三	一三、三二三	二六四、七二三	一三八、四四六	一一三、四八九	二七、四二三	二八、〇二三	二、二四八	四、九五五	五五、一一一	一一、三七二	九八三、九七〇
孤兒院 院數	二	二	四	八	一	一	四	一	四	六	三	二	五	一二	三	一	八	八	二	五	二	四	二	五	九四
孤兒院 男	二四	四	四八	一〇〇	—	一四	六	三	七四	四四	—	—	三四	七	一六	—	五二三	—	三	—	二	八	—	—	九〇九
孤兒院 女	一七五	一三六	五四五	一、八二三	三一六	六六	五三一	一一〇	五八	二一五	三七一	二七	七六六	一五七	三〇五	六四三	八九九	一六三	五八	二三三	七	五六	六〇	七三	七、六七〇
遺棄兒童保護院	三、七九六	一九〇	一、七〇七	一、一五六	一、一七九	七〇	三、一四八	二七〇	一三	四五	一、三四六	—	一、一八九	七〇	四四九	五八七	七、一二三	一六	一三	一、六九四	五	一一	四四	二八	二四、三四七
養老院及病院 院數	—	四	四	五	三	—	八	一	一	一	七	—	一四	二	三	四	八	二	二	一	二	六	三	一	八二
養老院及病院 患者	—	一八六	七九二	九、〇三八	一、九二三	—	二、二五七	四	三八七	四	七、三二五	—	六、三一七	一、五三二	九、五八〇	二、五一七	一九、六三六	三三	一、四五三	一〇	八	八八八	三、六四九	一〇二	六七、六三七
中等學校 男子 校數	一	一	—	一	一	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二	八	二	—	—	—	—	—	—	一七
中等學校 男子 生徒	五四一	一三三	—	七九	一二五	二九	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一、一二三	一、三五二	三八八	—	—	—	—	—	—	三、七五九
中等學校 女子 校數	二	一	—	一	一	一	一	—	—	—	四	—	—	—	—	四	六	一	一	—	—	—	一	—	二四
中等學校 女子 生徒	一五七	七一	—	二〇	一九八	一二〇	九五	—	—	—	一六	—	—	—	—	一六七	三五五	二二〇	三〇	—	—	—	二五九	—	一、七〇八
師範學校及傳道師學校 男子	—	—	六九	—	—	一四	—	—	—	二	—	二〇	一三	二六	—	八三	五九	二八	一九	—	—	一〇	—	一〇	三六一
師範學校及傳道師學校 女子	—	—	七〇	—	—	—	—	二〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	九〇
高等小學校 男子 校數	二	三	三	一	—	—	六	一	三	—	三	—	七	—	—	—	一三	一〇	三	五	一	—	—	二	六三
高等小學校 男子 生徒	一四〇	二〇七	八四	四〇	—	—	一九四	七五	一六三	—	一四八	—	四四五	—	—	三二七	二、六六五	九一三	一五四	一〇四	五〇	—	—	五〇	五、六五七
高等小學校 女子 校數	三	四	三	一	一	—	五	—	二	—	一	—	五	—	—	三	六	四	三	四	一	—	—	二	四八
高等小學校 女子 生徒	一二〇	九五	一〇六	九一	一五六	—	一一四	—	一二五	—	九七	—	一六二	—	—	一七二	一、六一七	三二四	一八〇	一八七	一一	—	—	五三	三、五一〇
小學校 男子 校數	三三	六	一五	四	一五	六	四〇	二〇	一五	一〇	七	二五	一七	三	六	三五	九二	五三	三	五八	一	一	一三八	二五	六二八
小學校 男子 兒童	一、九〇五	七一四	五九三	一七七	一、一四九	二一五	一、二八五	四〇九	七七七	四三〇	五二一	四三三	一、三四八	一〇五	九七	一、〇五一	二〇、四五五	二、三八五	六八九	二、三七九	二五六	三二〇	二、九九九	九七一	四一、五五三
小學校 女子 校數	三	七	三	四	一六	—	二四	一〇	一四	三	四	一〇	一三	三	—	一三	六八	二六	三	一〇	二	—	二九	五	二七八
小學校 女子 兒童	三九九	三〇八	一一五	一七八	一、〇一七	—	一、三八四	二七九	七二九	五二	一一五	一八五	六三一	四五	—	一、三七二	七、八五九	一、五一四	六六四	七一五	七九	—	九八五	三三〇	一八、八五五
公共要理教授 學校	二四	七三	一六四	一三六	一二三	三	四一	四八	一六	三三	六四	—	九四	七三	三三	五七一	三五九	一、四〇四	一三三	三二	八	二九	一八六	四四	三、六七五
公共要理教授 男子	四二八	八六〇	一、三三一	一、一五七	一、三五九	七三	六六三	三四二	一四三	三三七	五〇〇	—	二、〇〇二	一、一九七	五〇七	五、八九七	四、六一八	七、五五〇	一、八四八	五四九	六〇	三四九	一、一一三	五八〇	三三、四七二
公共要理教授 女子	五二九	、五八三	二、〇九八	一、一四〇	一、四二〇	—	六六五	二四七	二一七	二六九	五〇〇	—	一、二二七	九五五	三八三	五、五八四	五、〇八一	七、〇四七	一、七九〇	四四六	五一	三四六	一、四一〇	四四五	三三、二三三

ゐる。卽ち全支に渉る教區が各々百五十萬法乃至五百萬法の財產を有してゐる爲め、佛國布教團體の支那に於ける土地保有は極めて巨額に達するものと推定し得よう。一佛人（Guy Tacam）は其の總額を十二億五千萬法と計算してゐる。此の他本國よりの送金額がある譯であるが、それが幾何の額に上つたかは明かでない。嘗てリオンに成立したカトリツク信仰宣教會は、對支宗教送金の有力な貯水池であるけれども、大戰後本部はローマに移り、而も戰後は米國の獻金急激の增加を示した爲めに、該宣教會を通じての佛國の對支送金額は明かでない。國籍を超越した世界公教會を自任するカトリツク教會としては蓋し已むを得ないことであらう。要するに、カトリツクに依る佛國の對支進出は各國に比べて其の歷史が遙に古く其の地盤は牢固として拔くべからざるものがある。特に十九世紀後半、カトリツク保護權を利用して佛國對支政策を運營した爲めに各國の宗教團體も之に追從せざるを得ず、亦今世紀に至り其の保護權が解消し、特に大戰後佛國本國の努力が衰へた爲めに直接之を對支政策に利用し得ないけれども、上海始め各地に投下したカトリツクの事業資本は商業資本に優に拮抗するだけの力を有し其の勢力は侮り難いものがある。殊にカトリツクの宣教方針は、プロテスタントの如く一般社會を目指して派手に福音宣傳をするといふよりも、信仰一天張りの地味な、然しながら强固な途を辿り、徐家滙其他にカトリツク共同社會を建設して隱然たる支配力を支那社會に持つ現狀は、我國の對支經濟・文化工作上よりも看過し難い存在である。

佛國カトリツク勢力の現狀を表記すると第三十三表の如くである。

第二節　非宗教的文化事業投資

第一　總　說

佛國の對支文化事業中非宗教的なものは、團匪賠償金に基く諸種の教育文化事業が首位を占め、上海に於ける佛租界工部局經營の諸施設、雲南省に於ける學校、病院等が之に次ぐ。此の外世界社の諸事業、北京及上海に於ける新聞、雜誌事業等を擧げることが出來る。

一、團匪賠償金に基く事業は次項に詳述する。

二、上海の佛租界は國際的住宅地として發達した關係上、佛國工部局は外國人（主として自國人）の便宜を圖り佛國式專門學校、中等學校及小學校五校を經營したのを始め、支那人に對し佛語教育を行ふ學校三校をも經營した。前者の外國人のための學校に對する工部局補助金は一九三五年度に於て三〇、七一七弗である。

同局は又租界内の支那人經營學校にも補助金―一九三五年度七七、五六四弗―を交付し佛語を奬勵してゐる。醫療施設として工部局は病院、特に支那貧民に對し慈善病院を經營する外、衞生試驗所を開設して租界内の衞生向上に盡力してゐる。（本節第四、第五參照）

三、雲南省は佛領印度支那と隣接するため、其の政治經濟上の諸權益と連關して佛國文化事業の獨壇場と稱するを得べく蔣政權の移動後益々活潑の度を增しビルマを根據地とする英國資本と角逐してゐる。同地に於ける教育及醫療施設がカトリック布教團體應援の下に佛領印度支那總督府の經營に係り、雲南鐵道と密接な關係を有するのは注目すべき現象である。尙事變後「中法大學藥物研究所」（本節第六參照）の一部研究員は昆明に赴いてをり、儀器類も相當多數同地に運ばれてゐて事實上同研究所の分所が設置された模樣である。又一九二九年世界社の肝入りで北京に設立された「國立北平研究院」（National Academy of Peiping）も現在昆明に移轉してゐて、藥學、動植物學及地文一般の研究を進めてゐる。印度支那總督府は其の經營に係る學校、病院は勿論これ等研究所に對して相當多くの經費を注入したようであるが詳細は不明である。又蒙自には曾て佛租界があつた關係上中法學堂等佛國勢力下の諸施設があり土着民族に對する佛國勢力を扶植してゐる。「世界社」は一九二八年上海に總社を設置して以來國際的文化事業團體として文化事業より更に經濟事業にまで相當活潑な活躍を成したが事變後は窮境に陷り有名無實となつた（本節第三參照）。以下細目に分つてこれ等の文化事業投資を檢索しよう。

第二　團匪賠償金に基く文化事業投資

一、沿　革

佛國の團匪賠償金は既述の如く、一九二二年の佛支協定に依り主として中法實業銀行の整理資金に充てることとなつたが、其の殘額は教育文化事業に充當されることとなつた。然るに金フラン問題が發生した爲めに頓挫を來した後、支那財政部、外交部及教育部は佛國當局と合議の結果、一九二五年右問題解決に關する佛支協定を改めて締結し、中法實業銀行の整理改組を行ひ新に中法工商銀行を成立せしめると共に、同協定第三條に於て賠償金の一部を以て文化事業を行ふこと

となり、其の機關として「佛支教育文化基金委員會」を創設することとなつた。(詳細は第五章參照)

「佛支教育文化基金委員會」(Comité des Fonds des Oeuvres Franco-Chinoise d'Education) は支那側七名、佛國側一名の委員に依り組織せられたものであつて、表決權は兩國各一票、委員會は佛支協定に基く文化事業基金の管理用途に任することとなつた。本委員會の事業としては

1、佛國巴里大學内に中國學院を設置、支那文化講座を開くこと
2、支那北京に同大學分校として中法大學を管理經營すること
3、文化事業資金年額二十萬米弗を折半して巴里中國學院及北京中法大學の維持費に充てること

二、最近の使用狀況

民國二十四年(一九三五年)七月一日より民國二十五年(一九三六年)に至る中法教育基金委員會の收入及支出豫算を見ると左の如くである。

△收入の部(米弗は法幣及國幣に換算)

國幣	一、一〇〇、三九〇元
佛幣	一、七九〇、五二五法

△支出の部(主なるもの)

一、委員會自辦事業	
中法文化交換出版委員會	三四、五〇〇元
同委員會の自辦事業及在佛留學生後援事業について左に略述しよう。(其他は本節各項參照)	
三、補助研究事業・講座講演費	
徐家滙天文臺	三、〇〇〇元
上海世界學院	三、〇〇〇元
佛國學者講演招待費	六、四二三元
中法大學藥物研究所	三、五〇〇元
孔德圖書館	一、七〇〇元
四、留學生費	
在佛支那留學生學資	八、二六二元及一七五、五七五法
里昂中法學院學生學資	三三、九〇〇法
五、其他	
杜美醫院(廣東)	三一八、四〇〇法
法團醫院(雲南)	一四二、五〇〇法
南京中法友誼會	三、一七五元

二、補助教育機關

北京孔德學校(現在は中法大學文學部に合併)	
	二二、五〇〇元
同校建築校舍費	七、七二〇元
佛國里昂中法學院	一〇、〇〇〇元及六四二、九〇〇法
北京中法大學	二九、〇〇〇元
同　特別補助費	一九六、〇〇〇元
雲南中法學院	一三三、〇〇〇法
巴里中國學院	二三七、五〇〇法
上海中法國立工學院	五八、五〇〇元
上海震旦大學	七四、九〇〇元
國立中山大學費	一〇〇、〇〇〇元

(1)里昂中法學院

始め「中法大學海外部」と稱したものであつて、後支那學生誘致の便宜上佛國里昂郊外サン・ヂュスト(Saint Just)に里昂中法大學協會(Institut Franco-Chinois de Lyon)を設立し、「里昂中法學院」を創めた。學院とはいつても所在地に

は授業設備等がなく、唯だ支那學生のための寄宿舍を經營するだけで、在籍學生即ち中法學院學生は全部佛國各地の一般大學、專門學校に委託留學せしめてをり、卒業證書は同學院より附與する方法を採つた。同學院の在籍學生は事變前大體百數十名であつて、佛國里昂大學を始め里昂工藝學校、里昂商業學校及各地學校に通學する學生は全部支那人であつて本協會と特別の協定を有する北京中法大學・廣東中山大學・杭州浙江大學學生が最も多く、南支那各省から選拔推薦されたものも相當ある。在籍留學生は何れも全部の學資を協會から支給され自費生はない。團匪賠償金に基く同學院への補助は一九三五年度一〇、〇〇元及六四二、九〇〇法である。

(2)巴里中國學院

佛國巴里大學に附設され Institut des Hautes Études Chinoise と稱される。佛國人學生に對して支那學を敎授するのを目的とする。團匪賠償金よりの補助は一九三五年度二三七、五〇〇法である。

(3)中法文化交換出版委員會 Commission Mixte des Oeuvres Franco-Chinoises (Office des Publications)

所　在　上海環龍路九〇

沿　革　一九三二年五月中法敎育基金委員會の技術部として設けられた

事　業　佛國兩國の代表的著作を飜譯出版し兩國文化の疏通を圖る

歲　費　一九三五年度三四、五〇〇元

職　員　執行委員　沈伊默

第三　國際的文化團體

一、世界社 (Che Kiai Che)

所　在　上海佛租界開森路三九三號

沿　革　一九〇五年總社を巴里 Rue Dareau 25 に創立、次いで上海、北京に分社を設置したが、其の後事業の發展に伴ひ一九二八年に至り上海に於ける現在の位置に洋館を購入して永久總辦事處、卽ち總社を設置することとなつた。同時に瑞西のゼネバに分社を設立して國際間各辦事處の中心點となし、中國及歐米各地に辦事處又は通信の機關を增設した。

事　業　開設當時は單に刊行物の出版に止まつたが、其後敎育、學術、衞生、經濟等各方面に其の範圍を擴張し中國に於ける國際合作團體として相當の業績を擧げた。先づ文化方面に於ては各種刊行物の出版、巴里中國印刷局の創辦を行つた外、左の敎育研究機關の設立促進に努力した。

(1)中法大學（別出）

(2)國立北平研究院 (National Academy of Peiping) 現在雲南昆明に移轉

(3)南京戲曲音樂院 (Nanking Academy of Music & Drama) 現在停止中

(4)中華戲曲專門學校 (School of Chinese Drama Peiping)

(5)世界文化合作中國代表團駐滬辦事處 (Délégations Chinoise auprès des Organisations Internationales de Coopération

Intellectuelle)

(6)上海中國國際圖書館（別出）

(7)世界文化合作中國協會（Chinese National Committee on Intellectual Co-operation)

此の外經濟方面に屬するものとして中國農工銀行の擴充と江南鐵路公司設立の促進、社會方面に關するものとして西山溫泉地各鄉村並に療養院等衞生事業促成等の事業がある。出版物には世界小叢書數十種がある。

歲　費　事變前二〇、〇〇〇弗（舊上海市政府支出）。經費の來源を前國民政府より仰いでゐた關係上、今事變後は窮境に陷つた模樣である。

職　員　首席組織員　吳敬恒、　創辦組織員　張人傑、　專任組織員　李煌瀛

二、上海法文協會（Alliance Française-Shanghai)

所　在　上海佛租界環龍路一一號

沿　革　一九二二年佛工部局經營學校長であつた佛人メボン（C.B. Mayhon）に依り設立される。總會は佛國巴里に置かれ、中國に於ては上海の本會を中心として青島、北京、天津に分會があり、上海に於ける會址は佛租界工部局の寄附に係る。

事　業　佛語の普及を圖り佛國文學、藝術の宣揚及中佛文化機關の聯絡等を行ふ。實際に行つた事業としては(1)圖書館の經營　(2)佛語夜學校の開設　(3)歷史、文學、繪畫等に關する講演會の開催　(4)音樂會の開催　(5)アマチュア演劇の開演　(6)中佛兩國の繪畫展覽會開催

會　員　佛國人を主として各國人約三百五十名（一九三五年六月現在）

經　費　事變前一年一七、二〇〇元（內購書費六、〇〇〇元、定期刊行物費一、二〇〇元、企劃費四、〇〇〇元、事務費六、〇〇〇元）、主として會費（一人當り二〇元）及外人團體の醵金に依る

職　員　佛國側駐支代表者 Ch. Crosbois. 會長　達高鐵(Mr. De Goth)　副會長　薛凡及美呢

藏　書　佛國のものを主として約二七、〇〇〇部、外に佛文雜誌類五十餘種

尙本會は外人設立である爲めに今事變の影響は蒙らない模樣である。

第四　教育施設

一、中法大學（Université Franco-Chinois)

所在地　北京東皇城根三九

沿　革　一九一七年（民國六年）世界社の創設した北京佛蘭西豫備學校に端を發し、一九二〇年國立北京大學、廣東大學及佛國里昂國立大學代表の發起に依り學制を整備し中法大學と改む。

事　業　文學院、理學院、醫學院及社會科學院の四學院に分れ修業年限四箇年、學生（一九三三—三四年）百八十三名、教職員百五十餘名、卒業者（一九二六—三三年）百七名を有し、別に上海に藥學專修科（學生數五十名）を設置する。佛國里昂の中法研究所、北京のラヂウム研究所及藥材研究所は本大學の附設事業となつた。

經　費　年收一、一六一、六三〇元（一九三三—四年）、佛國團匪賠償金よりの補助金、中國教員部補助金、學生授業

料及個人的寄附より成る。經常費年額約四〇萬元

職　員　學長兼理學院長　李麟玉、文學院長　王鳳儀、醫學院長　朱廣相、社會科學院長　沈尹默

二、中法國立工學院（Institut Technique Franco-Chinois）

所在地　上海　斐德路一、一九五

沿　革　一九〇七年獨逸人 Paulum が上海の佛租界で創めた醫學塾が本院の濫觴をなす。同塾は其後生徒數も增加した爲めに獨逸本國政府の許可を經て醫工兩科を設け獨逸國立大學に改組せられて同濟大學となつた。

歐洲域後ベルサイユ條約に依り同濟大學の財産は中法兩政府の共同監理となり、中法國立通惠工商學校を創設、後一九二三年に至り排外風潮の爲めに校務は停頓し商科を廢して工業專門學校となつた。一九三一年教育令に依り學制を改定し中法國立大學院と稱して今日に至つた。

事　業　土木鐵道部、電氣機械工業部の兩部に分れ修業年限四年、別に佛文補習班（一年制）及高級中學（三年）を特設。學生數（一九三三—三四年）本科七一名、補習班八六名、外に高級中學生徒若干。本大學の卒業生席次第一位、第二位のものは本院より佛國又は白耳義國へ留學の制度がある（白耳義國留學の卒業生は三一名ある）。

經　費　年限一四三、九二九元（一九三三—三四年）。中佛兩國政府が各半額宛負擔する。

職　員　院長（中國側）褚民誼（訓育主任兼任）、（佛國側）Henri Civet（教務主任兼任）、秘書主任農汝惠、教授五名（中國四、佛國一）、講師二十三名（中國十五、佛國八）

三、佛工部局經營諸學校

1、中國人教育を主とするもの

（Ⅰ）中法學院（L'Ecole Municipal Franco-Chinois）Rte. Paul de Montigny にあり、校長 J. Alfred Frère 一九三五年度經費三二、一四〇弗、學生數は中國人一、〇三〇人、特にタイプライター、速記術、簿記等を專修せしめる。

（Ⅱ）初級學校（L'Ecole Primaire Chinoise）

校長中國人侯溫曙、經費（一九三五年度）八、六五三弗、生徒數一、二〇〇人（中國人のみであつて貧困者の子弟が多い）、程度は中國初級學校の程度であつて佛語を教へる。

（Ⅲ）初級學校（L'Ecole Primaire Chinoise de Lagrené）

六歲より十一歲までの男女を教育、一九三五年九月開校、四箇年修業、生徒數五四〇人あり、經費（一九三五年度）三、四〇〇弗、校長は中國人 T.T. Chen Liang

（2）外國人（主として佛國人）教育を主とするもの

（Ⅰ）フランス大學（Collége Municipal Français）

專門學校程度、一九三五年度校費三〇、三三五弗を要した。學生數三八〇名（內佛國人一四六人）、校長は Ch. Grosbois.

（Ⅱ）フランス學校（L'Ecole Municipal Français Rémi）　校長は P. Guillemont、生徒三百人（大半はロシア人）、經費（一九三五年度）一一、三六五弗

(Ⅱ)安南人學校（L'Ecole Franco-Annamite）　安南人生徒七〇人、程度は印度支那に於ける初級程度

四、法越學校（École Franco-Chinoise）

所　在　雲南（以前は省城雲津街にある佛國天主堂經營の上智學校々舍を借用したのであるが、一九三七年より石橋舖の支那家屋に移轉した）

沿　革　一九〇三年「雲南鐵道の敷設及經營に關する協定」第二十八條の規定に基き開設、佛領印度支那總督府の經營に係り、當初は「中法學校」と稱せられたが、一九二七年法越學校と改稱して現在に及ぶ。

事　業　五箇年制、一學級三、四十人。元來鐵道從業員及通譯養成の爲めに支那人及安南人に對する佛語教育を目的とする　開設以來卒業生十二回、約五百人餘、滇越鐵道及佛人經營の會社商店に雇用せられるもの五名。

經　費　現在未詳。一九二五年當時佛領印度支那政府は本校に對して一年一萬五千元を支給してゐた。

職　員　校長Marcel Marcadet. 教員は大半佛蘭西人である。

五、法越女學校（L'École Française de filles）

法越學校の附屬女學校で一九〇八年開校。

第五　醫療施設

一、佛國工部局經營病院

(Ⅰ)無料施療所（Dispensaire Municipal）

一九三五年度に於ては六五、六一三名（內中國人五六、五〇六名）の診療をなした。種痘を施したもの約二萬人である。齒科室に於ては二、九一二名の診療をなした。中國人以外のものが多い。特別病舍には六七名の外支人を收容。入院患者—公共補助金に依り入院したもの一、五〇七名。結核患者室には三名、精神病者室には三十二名收容。

(Ⅱ)上海普慈養院（Mercy Hospital）

北橋にある。一九三五年八月新設されたものであつて上海各界の協力に依るものである。中國人患者を主として、尙不治の外國人精神病者を收容する。

(Ⅲ)工部局衞生試驗所（Laboratoire Municipal）

一九三五年末金神父路に新築され、顧問として巴里パスツール研究所より醫學者を招聘した。

二、法國醫院（Hospital Consulaire Français）

雲南省城實竹街にある。

一九〇一年佛領印度支那總督府經營の下に佛國領事館附屬醫院として開設せられたものであつて、其後衰微した爲めに佛國は一九三三年甘美醫院を設立して當時の副院長斐文貴（佛國醫院部出身、安卓人）に本院の經營を委ねて今日に及んだ。本院は病室數二十を有し、診療費及藥價は低廉であつて、貧民には無料診療所がある。從つて患者は中流以下の支那人、安南人を主とする。

三、甘美醫院

雲南省城巡津街にある。

一九三三年佛領印度支那政府の經營に係り三階建の廣莊な洋風建築であつて設備優秀である。だが診療費用は一切ピアストル（銀貨）建で高價であるのと、法團醫院との協定に依り入院患者以外一般支那人の往診に應じない爲め患者は主として歐米人に限られる。

院長 Dr. G. Maullac は軍醫出身の醫官であつて元佛領印度支那總督府附屬醫院に在職したものである。

第六　圖書館・研究所

佛國系圖書館としては上海に於ける國際的の圖書館一、大學附屬圖書館二、及徐家滙のものが著名である。此の外教會附設のものが多數あるが小規模である　尙中佛文化交換の一工作として國立巴里圖書館と國立北京圖書館との間に館員交換の制度が設置され支那側より一名、佛國側より一名、夫々相手國の圖書館に至つて研究に從事してゐる。

研究所としては中法大學附設のものを擧げ得るに過ぎない。同研究所の分所が雲南に設置されようとしてゐる。又北京にあつて佛國系の國立北平研究院も雲南に移轉されたのは注目に値する。

一、上海中國國際圖書館（Bibliothèque Sino-Internationale, Shanghai Sections)

所　在　上海福開森路三九三號

沿　革　始め世界社の圖書館として上海に經營されてゐたものが、一九三五年（民國二十四年）中國國際圖書館（瑞西ゼネバに本館を有す）の上海支館として開館されたのである。此の中國國際圖書館と云ふのは一九三三年國立北平研究院々長 李煜瀛（學生時代巴里留學）の發起に依り、外國文化の融合を圖る爲めに瑞西ゼネバ（Frorisant 5）に設立された。

藏　書　約五萬部 洋書及華書、外に各國の雜誌新聞類五百種

職　員　主席代表者　李煜瀛、ゼネバ本館々長　胡天石、上海館長　馮祖怡

二、震旦大學圖書館 Aurora University Library

所　在　上海呂班路二二三

沿　革　一九二八年設立

藏　書　七一、二三一部（內華書一五、一七三、洋書五六、〇五八）

年經費　約二二、〇〇〇弗

統　計　閱覽者一ケ月平均一、五〇〇人、貸出書籍六〇〇部

職　員　館長 Père L. Richard.

三、中法大學圖書館 Bibliothèque de la Université Franco-Chinois

所　在　北平東皇城根三九

沿　革　一九二三年北平西山碧雲寺にあつた西山圖書館に始まる。一九三一年に至つて別にあつた科學、醫學兩圖書館を合併して新館建築に移り、中法大學圖書館となつた。

藏書數　一九三三年現在約一〇〇、〇〇〇部（洋書及華書より成る）。洋書中には佛蘭西書大半を占める。部門別に見ると一般文化關係五〇パーセント、科學三〇パーセント、醫學二〇パーセント

年經費　購書費約二〇、〇〇〇弗（一九三三年度）

統　計　閲覽者一ヶ月平均三、七八〇名（一九三三年度）

職　員　館長李麟玉、主任王鳳儀

四、徐家滙天主堂藏書樓 Zikawei Library

所　在　上海徐家滙

沿　革　一八四七年徐家滙を傳道事業の中心とした French Catholic Fathers に依つて設立された。

藏書數　約二〇〇、〇〇〇部。內譯華書一二〇、〇〇〇部（鄉土志方一九、四八九部を含む）、洋書八〇、〇〇〇部（希臘羅典の古典が多數ある）

特　色　本樓は華文及外國文の貴重な文獻が甚だ多く、各國出版の百科辭典類も悉く備はつてゐる。其他支那及歐米の古錢等も多數藏し考古學者には無二の研究材料を提供する。

五、中法大學藥物研究所

所　在　北平東皇城根大學內（上海支所亞爾培路三九三）

沿　革　一九三二年中法大學當局が國立北平研究院と協同の下に中法大學の附設として設立したものである。

事　業　支那に於ける漢方藥及一般醫藥の研究を目的とする。事變後は雲南昆明に多數の研究員が赴いた爲めに上海支所は規模が縮少されてをり、專ら止血藥を研究中である。

經　費　一九三五年度約二四、〇〇〇元（中法大學より支出）

六、徐家滙天文臺

所　在　上海郊外徐家滙

沿　革　明末イエズス會宣教士南京北極閣にあつて觀賞臺を建築した。今其の遺祉が存する。現在の天文臺は前淸同治十二年（一八七三年）佛國人高鎬鼎司鐸を第一の發起人として設立された。舊祉は本來肇嘉濱岸にあり、平家建のものであつたが、光緒六年（一八八〇年）增築擴張し光緒二十五年（一八九九年）徐文定の墓東部に別に新臺舍を建て翌々年竣工、此處に移轉した。其の前年卽ち同二十六年（一九〇〇年）新氣象臺が徐山の山頂に竣工し天文學部は此處に移轉、又三十四年（一九〇八年）磁氣學部は崑山陸濱に移つた爲めに今日の徐家滙天文臺には地震氣象の兩部を存するだけである。

事　業　賽風機、測候地震機、風雨表等儀器が頗る多く各種の測定をなす。又時鐘があつて上海の正午及午後九時を報じて標準時間を示す。本天文臺は專ら測候氣象を司り中國沿岸及長江一帶の軍艦、汽船に颱風、驟雨の所在を通報する。

職　員　所長 Pére P. Lejay. 氣象地震兩學部長 Pére E. Gherzé. 磁器學部長 Pére M. Burgand. 天文學部長 Pére E. Villemarqué

第七　博物館（宗教的のものを含む）

一、震旦大學博物院（Heude Museum, Aurora University）

所　在　上海呂班路震旦大學內

沿　革　一八六八年 Père Heude（韓石貞司鐸）の創立に係り、初め徐家滙にあつて徐家滙博物院として知られた。一九三〇年震旦大學の下に入り大學の名を冠す。

事　業　支那に於ける動植物の最も豊富な標本集を藏するのみならず、古物の蒐集三、五〇〇餘點に達する。

職　員　院長兼研究長 Père Piel（鄧肇爾司鐸）、研究員 A. Savio.

二、北疆博物院 Musée Hoang Ho Pai Ho H.H.P.H.

所　在　天津特一區工商學院內

沿　革　民國二十五年五月イエズス會（Society of Jesus）の Père Licent に依つて創立された。

事　業　黃河及白河に依つて洗はれたる北支地方の產物を蒐集する。陳列所は二部に分れ、地理化石部及動植物人類學部より成る。主として設立した Licent 自身が蒐めたものであつて、それ以外のものとしては彼の協力者 Père Teilhard de Chardin の寄贈に係る、公衆に公開されたものは纔かに其の一部であつて、大半は非公開のものとして篤志科學者にのみ縱覽を許してゐた。天津洪水により被害を蒙る。

院　長　Père E. Licent.

三、徐家滙博物館

所　在　上海徐家滙天主堂內（圖書館に隣接）

沿　革　佛國カトリック教會徐家滙事業の一として前淸同治元年（一八六二年）の設立に係る。

事　業　江南地方の動植物に重きを置き、尙各種物理化學用品を併せ藏する。規模廣大組織も亦良く整ひ、特に支那及歐米の動植物學著書を珍藏し古書の有益なものが多く、上海方面博物館中最良のものである。

經　費　出資は佛本國信徒の醵出に仰ぐ。又支那政府より隨時相當補助金を受けてゐた。本國政府の補助監督を受けず、圖書館擔當敎師の管理に屬する。

第八　新聞、雜誌

在支佛國系新聞雜誌は英、米に比べて其の數が少く著名なものは左の三種である。別に宗敎關係のものとしては徐家滙に於ける「イエズス會々報」を始めカトリック傳道機關新聞、雜誌等多數あり、佛語に依るものが九種ある。何れも投資額を知るに困難であるから、唯其の事業の大要を摘記しよう。此の外佛國系通信社のアバス社（Agence Havas）が北京、上海に支局を有する外、アゲフイ社（Agefi）も二三の特派員を有する模樣である。

一、Le Journal de Pékin（北京報）

資本主及主筆 André Nachbaur

一九一一年創刊、發行所甘雨胡同、日刊八頁、發行部數三百、本紙はもと白、佛、露三國人の一團に依つて經營せられてゐたものであるが、歐洲大戰中來燕せる佛國人故 Nachbaur（現持主の父）に買收せられた。佛國大使館より補助があると謂はれる。

二、Le Journal de Shanghai（法文上海日報）

資本主　G.S. Moresthe.　主筆　R. Laurens（編輯兼務元アバス通信員）、記者三名。一九二七年十二月創刊、發行所公館馬路二一―二三、日刊、發行數約二千五百。

本紙は過去三十年に亘つて發行せられた L'Echo de Chine の廢刊を惜みアバス通信員等に依り創刊せられたものである。佛國領事館側の後援があり、經營に關しては一定の保證を有する。上海及全支在留佛人は支那に於ける最良の自國新聞として購讀する。從て其の論調は佛國在留民の輿論を代表し、穩健である。

三、Revue Nationale Chinoise（雜誌）

主筆G. Em. Lemiere. 月刊であつて、發行所はハルード・ヴアロン街一〇八である。外交評論を主とし、別に政治社會記事をも揭げる。寄稿者は支那人が大部分である。

附、佛國に於ける支那留學生

佛國に於ける支那留學生は既述の團匪賠償金に基く里昂中法大學在學生が多數を占める。之に次いでは巴里であつて巴里の支那留學生は「中法友誼會」の斡旋を受けて駐佛中華學生會本部を設く。更に滿洲事變以來巴里中國青年黨（Partie de la Jeune Chine）を組織し排日宣傳を行つてゐる。又市內 Rue Monge には中國國民黨駐歐總支部があり、支那留學生が多數黨員となつてゐた。支那留學生の總數は佛全國にて五百三十名（一九三一年調）であつた。

中法友誼會（L'association Amicale et de Patronage Franco-Chinoise）

佛國巴里に本部を置き佛國人及支那人の役員を任命し、佛國政府より年額五萬法（一九三一年調）の補助金を受ける。其の事業は

1、支那學生の留學來國に對し便宜を供與す
2、支那留學生の國內旅行に對し船車賃割引證明書の發行
3、支那留學生に對する卒業後の就職斡旋
4、支那留學生に對する學資の補助
5、月刊雜誌 Revue Franco-Chinoise の發行
6、巴里に支那學生會館（Maison des Étudiants Chinoise）の經營

又支那留學生が本國歸還後組織した學會として左の如きものがある。

中華政治經濟學會（Political & Economic Science Association of China）

本學會はもと巴里に於て同地にある支那人留學生の間に創立されたものであるが、一九三二年上海に於て正式の發會を見た。事變前本部は南京にあつた。會員約一二〇名（一九三四年三月現在）

新中國農學會（Société d'Agriculture de la Chine nouvelle）

一九二四年佛蘭西ナンシーに於ける支那人留學生の間に生れ、彼等の歸國と共に南京に移り、事變前同市に本部があつた。一九三三―三四年度に於ける諸經費約三、〇〇〇弗（主として會員の支出に待つ）

附錄　在上海佛國重要商社一覽表

一、貿易及商業

商社名	營業種目
信孚洋行 Madier, Ribet & Cie.	絲、絹帽、煙草輸出
柯思祿 L. Kosloff	輸入
茂新洋行 T. Spunnt & Co.	棉花輸出入
倍來享洋行 D. Beraha & Stetten (S. A. R. L.)	輸出入
培利洋行 P. Le Bris Export-Import S. R. L.	輸出入、工廠代理店
康福・洋行 E. Chambefort & Co.	疋頭輸入
商社名	營業種目
祥利洋行 J. Azadian, S. A.	生絲、茶、煙草、棉布輸出兼ビール會社經營
凱時 Abraham, Katz. Co.	輸出入代理店
斯文洋行 S. E. Shahmoon & Co.	輸出入、土地賣買
達孚洋行 Louis Dreyfus & Co.	食料品輸出入
福興洋行 H. Follet & Cie.	輸出
龍東公司 L. Rondon & Co., Ltd.	輸出入及洋酒商

聯茂貿易公司 United Mercantile Co.	輸出入
駿源 Compagnie D'Exportation de Produits Asiatiques	生絲及繭綢輸出
中法貿易公司 Franco Agency Co.	輸出入
元利公司 M. Chapeaux & Co., Ltd.	輸出入
吉利洋行 Société Française du Haut Yangtse	輸出入
有余洋行 J. Sauvayre	輸出
立興洋行 S. A. Racine & Cie.	輸出入、藥品、保險、運送業
永興洋行 Olivier-Chine (S. A.)	輸出入、保險
永興洋行 L. Pernot & Cie.	生絲、煙草、綢緞、草帽輸出
百多洋行 Marthoud	輸出入
百部洋行 • Baboud, Mary & Cie.	輸出入
聯華公司 Groupe Chine	
法蘭西大藥房 Pharmacie Française	藥品
龍頭靈聯合大藥廠 Société des Usines Chimiques Rhonepoulenc, Paris	藥品、化粧品
法國大藥房 Pharmacie Générale	藥品
法國酒公司 Vins de France	洋酒
麥瑞 Marcel Establishments	菓子、食料品
曉維洋行 Franchine Trading Co.	洋酒

老大昌洋行　ペン、英字
Tchakalian et Cie.

法和食料品店　食料品
Franco-Japanese Store

法商麵包店　ペン
French Bakery

中國啤酒廠　ビール製造
National Brewery

廣成造酒廠　醸造業
Société Franco-Chinoise Distillerie de Hankou

隆高麥洋行　工業機械及醫療品
Lonkomay

德威洋行　金屬、機械、化學製品、紡織品
Hardivilliers & Cie.

法國靴店　靴業
French Shoe Store

二、土地家屋買賣、建築

中國建業地產公司　土地、家屋、建築
Foncière et Immobilière de Chine

上海地產公司　土地買賣、代理業
Shanghai Land Development & Companie's Agency

沙發洋行　不動產買賣
Theodore Sopher & Co.

天津中法義隆房產公司　不動產金融
Société Foncière Franco-Chinoise de Tientsin
(Société anonyme)

魯衡　測量及工事
Toporealty (Vibarel & Co.)

法商營造公司　土木工事、建築、測量
Minutti & Cie.

三、銀行、金融、保險

東方滙理銀行
Banque de L'Indo-Chine

滙源銀行
Union Mobiliere

中法工商銀行
Banque Franco-Chinoise pour le Commerce et l'Industrie

義品放款銀行
Crédit Foncier d'Extrême Orient

寓國儲蓄會
International Savings Society

白散　爲替、標金取引
L. Basset

斯文洋行　公債株券買賣
E. E. Shahmoon & Co.

上海銀公司　土地投資、金融、保險
Shanghai Finance Co., Ltd.

中法銀公司
Crédit Franco-Chinois

保太保險公司　水火災及自動車保險
Assurance Franco Asiatique

法美保險公司　水火災及自動車保險

法蘭西洋琴行　樂器
F. Français & Co.

寶多洋行　毛織物、生絲、石炭、洋酒、紙
Compagnie Optory

鳥利洋行　時計、寶石
J. Ullmann & Co.

利威　寶石、骨董品
Sennet Freres

利榮洋行　寶石、骨董品
L. Lion

筆喇　絲綢
S.A. Pila & Cie.

披拉　毛織物
R. F. Pirard

四、工　　鑛　　業

愛捷克汽車行	自動車修理
Isaacs Motor Service	
法大汽車行	自動車販賣及修理
Grand Garage Français	
法商電器公司	電氣器具、工事請負
Compagnie Française D'Installation Electrique	
法商長途電話公司	電話電信機
Société Française des Telephone Interurbains	
東方修焊有限公司	電氣熔接
Far East Oxygen & Acetylene Co., Ltd.	
巴黎工業電氣廠	機械鐵道材料
National Technique	
上海商電車電燈公司	
Compagnie Française de Tramways et D,Eclalairage	
中法求新製造廠	造船及機械
Société Franco-Chinoise de Construction Metalliqes et Mechanique (Kiou Sin Dock)	
鴻基煤鐵公司	石炭
Société Française des Charbonnages du Tonkin	

五、運　　輸

法國大輪船公司	航運業
Compagnie des Messageries Maritime (French Mail Co.)	
聚福洋行	
Union Franco-Chinoise de Navgation	
歐美旅行社	旅行案內、運送
Orient Lloyd, Ltd.	
立興內河輪船商	水運業
Lih Shing Inland Steam Launch Co.	

六、其　　他

哈瓦斯通訊社	通信
Agence Havas	
法文上海日報	新聞
Le Journal de Shanghai	
法商賽跑場	犬競爭場
Champ de Courses Française (Canidrome)	
中央運動場	回力球
Parc des Sports	

佛國對支經濟勢力一覽表

在留人口（一九三六年）

	北支			中支			南支			(附)香港			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
在留人口	1,175	965	2,140	1,338	872	2,210	446	274	720	83	107	190	3,042	2,218	5,260

商社

主要商社分類（71社）

業種	金融・銀行	交通・運輸	商業・貿易	工業	滙…
商社數	9	6	25	20	
重要社名	東方匯理銀行，中法工商銀行，萬國儲蓄會	聚福洋行，立興內河輪船局，法商長途電話公司	立興洋行，(A.S. Racine)百部洋行 (Baboud) 法國大藥房 (Pharmacie Générale)	上海法商電車電燈公司，中法求新機器輪船製造廠	

金融及投資機關

機關名	銀行				一般投資機關		
機關名	Banque de L'Indo-Chine	Banque Franco-Chinoise pour le Commerce et l'Industrie	Crédit Foncier d'Extrême-Orient	Union Mobilière (Société Française de Banque et de Placements)	Crédit Franco-Chinois	International Savings Society (Société Internationale d'Epargne)	Foncière et Immobili…
支那名	東方匯理銀行	中法工商銀行	義品放款銀行	法商匯源銀行	中法銀公司	萬國儲蓄會	中國建業地產…
設立年	1875	1922	1907	1921		1912	1921
本店所在地	巴里	巴里	(白耳義) ブラッセル	上海	上海	上海	上…
資本金	120,000,000 法	50,000,000 法	70,000,000 法	2,000,000 元		2,797,202 元	
拂込資本金	120,000,000 法	50,000,000 法	70,000,000 法	2,000,000 元		2,797,202 元	
支店所在地	上海，天津，北京，漢口，香港，廣東，昆明	北京，天津，上海，香港	天津，漢口，上海，香港	天津		天津，香港，北京，廣東，福州，漢口，雲南，青島，重慶	
備考	1. 取引銀行：National Provincial Bank,Ltd., Comptoir National d'Escompte de Paris, French American Banking Corporation. 2. 本行ハ鐵道，鑛產及其他佛國利權活動ノ投資的役割ヲ任務トス 3. 通貨發行ノ特權ヲ有シ，發行兌換券ハ滇越鐵路開通後雲南省南部各地ニ流通セリ	1. 企業形態：佛支合辦（佛蘭西法律ニ依リ登記）……中國政府出資 10,000,000 法 2. 沿革：本行ノ前身ハ 1913 年 7 月 5 日ニ設立サレタル中法實業銀行，1920 年 經營難ニ陷リタル同行ハ「中法實業管理公司」ニヨリテ整理サレ後ニ本行ノ成立トナル	1. 企業形態：佛白合辦 2. 取引銀行：Banque de Paris et des Pays-Bas, Banque Belge pour l'Etrangère, Banque d'Outremer-Société Française de Banque et de Dépots. 3. 營業種目：天津，上海，漢口其他支那各通商港及極東ニ於ケル不動產金融，同經營，設計及建築業，煉瓦製造業，火災保險代理業	1. 營業種目：市場流通性アル有價證券投資ヲ目的トス 2. 天津ニテハ商號ニ「信託」ヲ冠シ「匯源信託銀行」ト稱ス	1. 營業種目：信託	1. 設立：1867年7月24日ノ佛國政府法ニ依リ 1912年 Public Savings Company，佛 "Société Anonyme" トシテ組織，1925 年 2 月 19 日及 1927 年 1 月 17日，上海佛國總領事館ニ登記 2. 取引銀行：Banque de L'Indo-Chine, Banque Franco-Chinoise pour de Commerce et l'Industrie, Hongkong & Shanghai Banking Corporation.	1. 營業種目：不動產付…ノ建設，不動產ノ管…金融

借款

財政部所管借款

借款名	一九〇八年四分半利付英佛借款	一九一三年五分利付善後借款	一九二五年五分利付中法工商銀行借款	一九一四年中法工商銀行五分利付浦口借款
	佛國引受分	佛國發行分		
起債額	2,500,000 磅 (鹽稅擔保)	5,000,000 磅 (關稅擔保)	43,893,900 米弗 (關稅擔保)	100,000,000 法 (雜收入擔保)
現在額（1939年1月）	125,000 磅	5,840,000 磅	24,919,500 米弗	100,000,000 法

鐵道部所管借款

借款名	一九一一年湖廣鐵路五分利付借款	一九三七年湖廣鐵路借款延滯利息整理借款（無利子）	一九一三年同成鐵路六分利付借款（未設線）	一九一四年欽渝鐵路五分利付借款（未設線）	一九三六年成渝鐵路七分利付借款	一九三八年龍州鐵路七分利付借款（未設線）
	佛國引受分	佛國持分	佛國引受分			
起債額	1,500,000 磅 (鐵路收入擔保 關稅及鹽稅補償)	110,419 磅	385,108 磅 2,899,259 法 (正太鐵路財產及收入擔保)	32,115,000 法 (完成後ノ鐵路財產及收入擔保)	34,500,000 元 (本鐵路收入及鐵路建設公債擔保)	150,000,000 法 (鹽稅收入剩餘金及完成後ノ鐵路財產)
現在額（1939年1月）	1,414,000 磅	110,419 磅	288,588 磅 2,125,780 法	12,859,270 法	34,500,000 元	150,000,000 法

在支那外債中佛國ノ一九三九年一月一日現持分

英
佛
米
支那…
合計（…

（備考）借款現在額ノ合計ニ當ツテハ白耳義ノ發行引受ニナル隴海鐵路外債現在額ノ半分（2,144,100磅）ハ佛蘭西ノ保有ニ歸セルモノトシテコレヲ加算セリ。元換算合計ニ當リテハ 1938 年 12 月中平均ノ Official rate ニヨル

對支投資概況（香港ヲ含ム）（リーマー調査ニヨル佛國ノ）

一九二九年ニ於ケル佛國ノ對支投資（金額單位百萬米弗）

事業投資	金額	95.0
	%	49.4
政府債務	金額	97.4
	%	50.6
合計	金額	192.4
	%	100.0

同事業投資分類

雲南鐵道	32,000,000 米弗
上海ニ於ケル事業投資	38,900,000 〃
上海以外ニ於ケル事業投資	2,400,000 〃
上海ニ於ケル收入ヲ生ム布教財產	19,787,200 〃
上海以外ニ於ケル收入ヲ生ム布教財產	1,920,000 〃
合計	95,007,200 〃

同事業投資ノ地理的分布

地名	金額	%
上海	38,900,000 米弗	94.3
天津	1,200,000 〃	2.9
漢口	600,000 〃	1.4
其他	600,000 〃	1.4
合計	41,300,000 〃	100.0

政府債務ノ分類

支那政府ノ一般目的	76,268,367 米弗
鐵道債務	13,864,892 〃
無擔保借款	424,440 〃
合計	90,557,699 〃

（備考）獨逸，露西亞ヨリノ移轉部分ヲ含マズ

投資額（一九三八年發表）ノ計算ニヨル佛國ノ在支（ギ・ラカム（Guy Lacam））

貿

對支貿易ニ於ケル佛國勢力

年度	支那へ輸出（千元）	各國輸出總額ニ對スル歩合（%）	支那ヨリ輸入（千元）	各國輸入總額ニ對スル歩合（%）	合計（千元）	各國輸出入總計ニ對スル歩合（%）
1935	13,336	1.45	29,243	5.08	42,579	2.85
1936	18,311	1.94	30,388	4.31	48,699	2.96
1937	15,092	1.58	32,641	3.89	47,733	2.66

支那ノ主要港ニ於ケル佛支貿易額及歩合

港名	支那ヨリ輸入 千元	支那ヨリ輸入 %	支那へ輸出 千金單位	支那へ輸出 %
秦皇島	508	1.40	4	0.01
天津	1,995	2.09	426	0.30
芝罘	482	4.47	10	0.09
威海衞	20	1.23	—	—
青島	662	1.18	16	0.03
上海	28,912	4.86	3,019	1.26
溫州	—	—	2	0.15
福州	—	—	5	0.19
汕頭	—	—	51	0.37
九龍	—	—	3	0.10
廣東	60	1.12	10	0.61
拱北	—	—	6	0.06

佛國對支重要輸入品

1938年　單位 1,000元

輸入品目	金額	內譯	
紡織纖維	10,372 (6.28%)	生絲	8,100(24.10%)
		屑生絲	1,519(37.08%)
		繭	256
		ラミー	244
		棉花	237 etc.
畜產品（皮革，皮製品ヲ含マズ）	4,213 (3.57%)		
種子	1,500 (7.70%)	落花生	823 (8.61%)
		杏實	677(16.82%)
植物油	680 (1.28%)	桐油	628 (1.60%)
繭綢	628(13.55%)		
茶	311 (0.91%)	綠茶	165
		紅茶	139
皮革・皮製品	305 (1.57%)		
タングステン	293 (0.58%)		
[illegible]	[illegible]		

輸…
金屬…
化學…
機…
染…
車…
雜…
羊…

佛國對支經濟勢力一覽表

昭和十四年末調

支		(附)香港			計		
女	計	男	女	計	男	女	計
274	720	83	107	190	3,042	2,218	5,260

商社	業種	金融・銀行	交通・運輸	商業・貿易	工業	鑛業	其他
主要商社分類 (71社)	商社數	9	6	25	20	8	3
	重要社名	東方匯理銀行，中法工商銀行，萬國儲蓄會	案福洋行，立興內河輪船局，法商長途電話公司	立興洋行，(A.S. Racine)百部洋行 (Baboud) 法國大藥房 (Pharmacie Générale)	上海法商電車電燈公司，中法求新機器輪船製造廠	鴻基煤鑛公司	法文上海月報，麥瑞，哈瓦斯通訊社

銀行 ／ 一般投資機關

Banque Franco-Chinoise pour le Commerce et l'Industrie	Crédit Foncier d'Extrême-Orient	Union Mobilière (Société Française de Banque et de Placements)	Crédit Franco-Chinois	International Savings Society (Société Internationale d'Epargne)	Foncière et Immobilière de Chine	Société Foncière Franco-Chinoise de Tientsin (Société Anonyme)
中法工商銀行	義品放款銀行	法商匯源銀行	中法銀公司	萬國儲蓄會	中國建業地產公司	天津中法義隆房產公司
1922	1907	1921		1912	1921	
巴里	(白耳義) ブラッセル	上海	上海	上海	上海	天津
50,000,000 法	70,000,000 法	2,000,000 元		2,797,202 元		200,000 兩
50,000,000 法	70,000,000 法	2,000,000 元		2,797,202 元		200,000 兩
北京，天津，上海，香港	天津，漢口，上海，香港	天津		天津，香港，北京，廣東，福州，漢口，雲南，青島，重慶		
1. 企業形態：佛支合辦（佛蘭西法律ニ依リ登記）……中國政府出資 10,000,000 法 2. 沿革：本行ノ前身ハ 1913 年 7 月 5 日ニ設立サレタル中法實業銀行，1920 年經營難ニ陷リタル同行ハ「中法實業管理公司」ニヨリテ整理サレ後ニ本行ノ成立トナル	1. 企業形態: 佛白合辦 2. 取引銀行: Banque de Paris et des Pays-Bas, Banque Belge pour l'Etrangère, Banque d'Outremer-Société Française de Banque et de Dépots. 3. 營業種目: 天津，上海，漢口其他支那各通商港及極東ニ於ケル不動產金融，同經營，設計及建築業，煉瓦製造業，火災保險代理業	1. 營業種目：市場流通性アル有價證券投資ヲ目的トス 2. 天津ニテハ商號ニ「信託」ヲ冠シ「匯源信託銀行」ト稱ス	1. 營業種目: 信託	1. 設立: 1867年7月24日ノ佛國政府法ニ依リ 1912年 Public Savings Company, 佛 "Société Anonyme" トシテ組織, 1925 年 2 月 19 日及 1927 年 1 月 17日, 上海佛國總領事館ニ登記 2. 取引銀行: Banque de L'Indo-Chine, Banque Franco-Chinoise pour de Commerce et l'Industrie, Hongkong & Shanghai Banking Corporation.	1. 營業種目: 不動產代理經營，家屋ノ建設，不動產ノ管理及投資並ニ金融	1. 營業種目: 不動產金融 2. 取引銀行: Crédit Foncier d'Extrême-Orient

[illegible]利	一九二五年五分利付中法工商銀行借款	一九一四年中法工商銀行五分利付浦口借款
	43,893,900 米弗	100,000,000 法
	(關稅擔保)	(雜收入擔保)
	24,919,500 米弗	100,000,000 法

鐵道部所管借款	一九一一年湖廣鐵路五分利付借款	一九三七年湖廣鐵路借款延滯利息整理借款（無利子）	一九一三年同成鐵路六分利付借款（未設線）	一九一四年欽渝鐵路五分利付借款（未設線）	一九三六年成渝鐵路七分利付借款	一九三八年龍州鐵路七分利付借款（未設線）
	佛國引受分	佛國持分	佛國引受分			
起債額	1,500,000 磅 (鐵路收入擔保 關稅及鹽稅補償)	110,419 磅	385,108 磅 / 2,899,259 法 (正太鐵路財產及收入擔保)	32,115,000 法 (完成後ノ鐵路財產及收入擔保)	34,500,000 元 (本鐵路收入及鐵路建設公債擔保)	150,000,000 法 (鹽稅收入剩餘金及完成後ノ鐵路財產)
現在額 (1939年 1月)	1,414,000 磅	110,419 磅	288,588 磅 / 2,125,780 法	12,859,270 法	34,500,000 元	150,000,000 法

一九三九年一月一日現在支那外債中佛國分持

	財政部所管	鐵道部所管	合計
英貨建	5,965,000磅	3,957,107磅	9,922,107磅
佛貨建	100,000,000法	164,985,050法	264,985,050法
米貨建	24,919,500米弗	—	24,919,500米弗
支那貨建	—	34,500,000元	34,500,000元
合計(元換算)	191,051,009元	115,266,513元	306,317,522元

[illegible]計ニ當ツテハ白耳義ノ發行引受ニナル隴海鐵路外債現在額ノ半分（2,144,100磅）ハ佛蘭西ノ保有ニ歸セルモノトシテコレヲ加算セリ。元換算合計ニ當リテハ 1938 年 12 月中平均ノ Official rate ニヨル

(米弗)
95.0
49.4
97.4
50.6
192.4
100.0

同事業投資分類

雲南鐵道	32,000,000	米弗
上海ニ於ケル事業投資	38,900,000	〃
上海以外ニ於ケル事業投資	2,400,000	〃
上海ニ於ケル收入ヲ生ム布教財產	19,787,200	〃
上海以外ニ於ケル收入ヲ生ム布教財產	1,920,000	〃
合計	95,007,200	〃

同事業投資ノ地理的分布

地名	金額		%
上海	38,900,000	米弗	94.3
天津	1,200,000	〃	2.9
漢口	600,000	〃	1.4
其他	600,000	〃	1.4
合計	41,300,000	〃	100.0

政府債務ノ分類

支那政府ノ一般目的	76,268,367	米弗
鐵道債務	13,864,892	〃
無擔保借款	424,440	〃
合計	90,557,699	〃

（備考）獨逸，露西亞ヨリノ移轉部分ヲ含マズ

投資額（一九三八年發表）ノ計算ニヨル佛國ノ在支 ギ・ラカム (Guy Lacam)

支那財政外債中佛國持分	1,740	百萬法
支那鐵道借款中佛國持分	360	〃
公共事業投資	450	〃
雲南鐵路	1,650	〃
商業投資	200	〃
私人ノ土地所有	600	〃
布教團體ノ土地所有	800	〃
合計	5,800	〃

[illegible]ノ佛國勢力

[illegible]入	各國輸入總額ニ對スル歩合 (%)	合計 (千元)	各國輸出入總計ニ對スル歩合 (%)
	5.08	42,579	2.85
	4.31	48,699	2.96
	3.89	47,733	2.66

支那ノ主要港ニ於ケル佛支貿易額及歩合

港名	支那ヨリ輸入 千元	%	支那ヘ輸出 千金單位	%
秦皇島	508	1.40	4	0.01
天津	1,995	2.09	426	0.30
芝罘	482	4.47	10	0.09
威海衞	20	1.23	—	—
青島	662	1.18	16	0.03
上海	28,912	4.86	3,019	1.26
溫州	—	—	2	0.15
福州	—	—	5	0.19
汕頭	—	—	51	0.37
九龍	—	—	3	0.10
廣東	60	1.12	10	0.61
拱北	—	—	6	0.06

佛國對支重要輸入品

1938年　單位 1,000元

輸入品目	金額	內譯	
紡織纖維	10,372 (6.28%)	生絲	8,100(24.10%)
		屑生絲	1,519(37.08%)
		繭	256
		ラミー	244
		棉花	237 etc.
畜產品 (皮革,皮製品ヲ含マズ)	4,213 (3.57%)		
種子	1,500 (7.70%)	落花生	823 (8.61%)
		杏實	677(16.82%)
植物油	680 (1.28%)	桐油	628 (1.60%)
繭綢	628(13.55%)		
茶	311 (0.91%)	綠茶	165
		紅茶	139
皮革・皮製品	305 (1.57%)		
タングステン	293 (0.58%)		
[illegible]	[illegible]		

佛國對支重要輸出品

1938 年　單位 1,000 金單位

輸出品目	金額	內譯	
金屬及礦砂	899 (3.16%)	軌條	298
		棒鐵	175
化學製品及藥品	687 (2.77%)		
機械工具	330 (1.35%)		
染料顏料	326 (2.42%)		
車輛船艇	282 (1.91%)		
雜金屬製品	137 (1.06%)		
羊毛及同製品	98 (1.20%)		
[illegible]	[illegible]	品目不明	4,285

貿易

對支貿易ニ於ケル佛國勢力

年度	支那へ輸出 (千元)	各國輸出總額ニ對スル歩合 (%)	支那ヨリ輸入 (千元)	各國輸入總額ニ對スル歩合 (%)	合計 (千元)	各國輸出入總計ニ對スル歩合 (%)
1935	13,336	1.45	29,243	5.08	42,579	2.85
1936	18,311	1.94	30,388	4.31	48,699	2.96
1937	15,092	1.58	32,641	3.89	47,733	2.66
1938	18,285	2.06	20,401	2.68	38,686	2.35
1939	11,307	0.85	32,641	3.18	43,948	1.86

支那ノ主要港ニ於ケル佛支貿易額及歩合

港名	支那ヨリ輸入 千元	%	支那へ輸出 千金單位	%
秦皇島	508	1.40	4	0.01
天津	1,995	2.09	426	0.30
芝罘	482	4.47	10	0.09
威海衞	20	1.23	—	—
青島	662	1.18	16	0.03
上海	23,912	4.86	3,019	1.26
溫州	—	—	2	0.15
福州	—	—	5	0.19
汕頭	—	—	51	0.37
九龍	—	—	3	0.10
廣東	60	1.12	10	0.61
拱北	—	—	6	0.06
雷州	2	0.01	22	4.18
瓊州	—	—	3	0.63
北海	—	—	2	0.20
龍州	—	—	228	1.56
蒙自	—	—	730	8.22

備考　各港ニ於ケル輸出入合計ヲ 100 トシ佛國ノ歩合ヲ示ス

佛國對支重要輸入品

1938年　　單位　1,000元

輸入品目	金額	內譯	
紡織纖維	10,372 (6.28%)	生絲	8,100(24.10%)
		屑繭生絲	1,519(37.08%)
		ラミー	256
		棉花	244
			237 etc.
畜產品(皮革,皮製品ヲ含マズ)	4,213 (3.57%)		
種子	1,500 (7.70%)	落花生	823 (8.61%)
		杏實	677(16.82%)
植物油	680 (1.28%)	桐油	628 (1.60%)
繭綢	628(13.55%)		
茶	311 (0.91%)	綠茶	165
		紅茶	139
皮革・皮製品	305 (1.57%)		
タングステン	293 (0.58%)		
植物染料	79 (8.29%)		
雜品	1,361 (5.03%)	草帽	1,369(14.20%)
		タングステン	293 (0.58%)
		麥稈眞田	230
		骨董	96 etc.
其他	160		
合計	20,402		

備考　%ハ當該品目ニツキ各國對支輸入合計額ノ中ニ占ムル佛國ノ歩合ヲ示ス

交通・通信

投資鐵道

路線名	完成	區間	本線	支線	合計	備考
滇越鐵路	1910年	老開—雲南	465粁	—	465粁	佛承辦鐵道,(狹軌)
京漢鐵路	1906年	北京—漢口	1,213粁	349粁	1,562粁	英,佛借款
粵漢鐵路	1936年	漢口—廣東	1,096粁	89粁	1,185粁	英,米,獨,佛四國借款
成渝鐵路	未設	成都—重慶	550粁	—	550粁	佛單獨借款
桂越鐵路	工事中	鎭南關—南寧	230粁	—	230粁	佛單獨借款(狹軌)
川滇鐵路	未設	敍州—昆明	720粁	—	720粁	佛單獨借款(狹軌)

電車會社　上海法商電車電燈公司 本店 巴里　支店 上海佛租界　設立 1906 年　資本 12,000,000 法 (全額拂込)　路線, 有軌九線, 無軌三線 33粁

各港出入佛船總噸數 (1939年)

外國航路	133隻	803,479
內國航路	393隻	361,970
合計	526隻	1,055,467

各國汽船會社名

聚福洋行 Union Franco-Chinoise de Navigation Co.	本店	設
立興內河輪船局 Lee Hsin Inland Steam Launch Co.	上海	1921
法國火輪船公司 Compagnie des Messageries Maritime.	巴里	
造船會社 求新機器輪船製造所 Société Franco-Chinoise de Constructions Métalliques et Mécaniques.	上海	1902
電話會社 法商長途電話公司 Société Française de Téléphones Interurbains.		
無線電信局 上海(佛租界)	佛領事	
廣州灣租借地	佛陸軍	
雲南	佛陸軍	

備考　雲南ニ於テ 50kw. ノ新裝置ヲ以テ佛支合辦會社設置セラレタル筈

鑛工業

業別	電車・電力 2社	機械器具 6社	自動車 2社	食料 5社	土木建築 3社
主要商社	Compagnie Française de Tramway et d'Eclairage Eléctriques de Shanghai (上海法商電車電燈公司) 本店 巴里	Société Franco-Chinoise de Constructions Métalliques et Mécaniques (通稱 Kiousin Dock, 中法求新機器輪船製造廠) 上海	Grand Garage Français (法大汽車行) 上海	Société Franco-Chinoise Distillerie de Hankou (康成造酒廠) 本店 巴里　支店工場 漢口	Foncière et Immobilière de Chine (中國公司) 上海

文化事業

カトリック系文化事業 (1937年)

教會		教育事業			社會事業			圖書館・研究所	
ミッション	6團體	教育部門	學校數	學生・生徒數	種類	院數	收容人員	名稱	所在
擔當教區		大學・專門學校	2	263人	孤兒院	94	8,579	震旦大學圖書館	上海呂班路
パリ外國宣教會	12教區	中學校	17	3,759〃	養老院, 病院	82	67,637	徐家滙藏書樓	上海徐家滙
ラザリスト會	6〃	女學校	24	1,708〃	遺棄兒童保護		24,347	徐家滙天文臺	同上
イエズス會	2〃	高等小學校	111	9,167〃				震旦大學博物館	上海呂班路
フランシスコ會	2〃	尋常小學校	894	10,408〃				北疆博物院	天津特一區
ビクプス會	1〃	公共要理教授	3,675	65,695〃				徐家滙博物館	上海徐家滙
ベタラム聖心會	1〃								
外人司祭,助修士,修道女	1,490人								
信者	933,970人								

一般文化事業

團匪賠償金關係	佛工部局關係		新聞・
中法教育文化基金委員會	教育事業		新聞
自辦事業	佛國人學校	5校	Le Journal de
北京中法大學	支那人學校	3校	Le Journal de S
巴里中國學院	病院	2院	雜誌
里昂中法學院	衛生試驗所	1所	Revue National
中法文化交換出版委員會			(宗教新聞雜誌)
補助事業			イエズス會々報
委員會決議ニヨリ毎年決定			

〔主要參照資料〕　China Year-Book, Chinese Year-Book, Finance and Commerce, China Hong-List, Shanghai Directory, Foreign Investment's in China (Remer); 滿洲及中華民國在留本邦人及外國人人口統計表, 滿洲及支那ニ於ケル歐米人ノ文化事業, 中華民國文化機關要覽, 支那航運 (日本郵船會社), 中國實業名鑑, 支那年鑑; 中國外債彙編, 上海銀行, 上海工商業彙編, 中國海關貿易統計, 全國銀行年鑑等

勢力

入總額ル歩合	合計	各國輸出入總計ニ對スル歩合
)	(千元)	(%)
8	42,579	2.85
1	48,699	2.96
9	47,733	2.66
3	38,686	2.35
1	43,948	1.86

港名	支那ヨリ輸入 千元	%	支那へ輸出 千金單位	%
秦皇島	508	1.40	4	0.01
天津	1,995	2.09	426	0.30
芝罘	482	4.47	10	0.09
威海衛	20	1.23	—	—
青島	662	1.18	16	0.03
上海	23,912	4.86	3,019	1.26
溫州	—	—	2	0.15
福州	—	—	5	0.19
汕頭	—	—	51	0.37
九龍	—	—	3	0.10
廣東	60	1.12	10	0.61
拱雷北	—	—	6	0.06
雷州	2	0.01	22	4.18
瓊州	—	—	3	0.63
北海	—	—	2	0.20
龍州	—	—	228	1.56
蒙自	—	—	730	8.22

備考 各港ニ於ケル輸出入合計ヲ 100 トシ佛國ノ歩合ヲ示ス

1938年 單位 1,000元

輸入品目	金額		內譯		
紡織纖維	10,372	(6.28%)	生絲		8,100(24.10%)
			屑生絲		1,519(37.08%)
			繭		256
			ラミー		244
			棉花		237 etc.
畜產品(皮革,皮製品ヲ含マズ)	4,213	(3.57%)			
種子	1,500	(7.70%)	落花生		823 (8.61%)
			杏實		677(16.82%)
植物油	680	(1.28%)	桐油		628 (1.60%)
繭綢	628	(13.55%)			
茶	311	(0.91%)	綠茶		165
			紅茶		139
皮革・皮製品	305	(1.57%)			
タングステン	293	(0.58%)			
植物染料	79	(8.29%)			
雜品	1,361	(5.03%)	草帽		1,399(14.20%)
			タングステン		293 (0.58%)
			麥稈蓆		280
			骨董		96 etc.
其他	160				
合計	20,402				

備考 %ハ當該品目ニツキ各國對支輸入合計額ノ中ニ占ムル佛國ノ歩合ヲ示ス

1938年 單位 1,000 金單位

輸出品目	金額		內譯	
金屬及礦砂	899	(3.16%)	軌條	298
			棒鐵	175
化學製品及藥品	687	(2.77%)		
機械工具	330	(1.35%)		
染料顏料	326	(2.42%)		
車輛船艤	282	(1.91%)		
雜金屬製品	137	(1.06%)		
羊毛及同製品	98	(1.20%)		
雜品	4,483	(9.87%)	品目不明	4,235 etc.
其他	804			
合計	8,046			

備考 %ハ當該品目ニツキ各國對支輸出合計額ノ中ニ占ムル佛國ノ割合ヲ示ス

區間	本線	支線	合計	備考
開—雲南	465 粁	—	465 粁	佛承辦纖道,(狹軌)
京—漢口	1,213 粁	349 粁	1,562 粁	英,佛借款
口—廣東	1,096 粁	89 粁	1,185 粁	英,米,獨,佛四國借款
都—重慶	550 粁	—	550 粁	佛單獨借款
關—南寧	230 粁	—	230 粁	佛單獨借款(狹軌)
州—昆明	720 粁	—	720 粁	佛單獨借款(狹軌)

海佛租界 設立 1906 年 資本 12,000,000 法(全額拂込) 路線,有軌九線,無軌三線 33粁

各港出入佛船總噸數(1939 年)

外國航路	133 隻	803,479 噸	合計ニ對スル比率 2.69%
內國航路	393 隻	361,970 噸	1.19%
合計	526 隻	1,055,467 噸	2.05%

各國汽船會社名		本店	設立	所有船		航路	
聚福洋行 Union Franco-Chinoise de Navigation Co.		上海	1921年	2 隻	1,768噸	宜昌—重慶	
立興內河輪船局 Lee Hsin Inland Steam Launch Co.		上海				上海-湖州(4) 上海-平湖(2)	
法國火輪船公司 Compagnie des Messageries Maritime.		巴里					
造船會社	求新機器輪船製造所 Société Franco-Chinoise de Constructions Métalliques et Mécaniques.	上海	1902年	資本	1,200,000兩 (全額拂込)		
電話會社	法商長途電話公司 Société Française de Téléphones Interurbains.						
無線電信局	上海(佛租界)	佛領事		7 kw.			
	廣州灣租借地	佛陸軍		5 kw.			
	雲南	佛陸軍		3 kw.			

備考 雲南ニ於テ 50kw. ノ新裝置ヲ以テ佛支合辦會社設置セラレタル筈

機械器具 6社	自動車 2社	食料 5社	土木建築 3社	鑛業 8社
Société Franco-Chinoise de Constructions Métalliques et Mécaniques (通稱 Kiousin Dock, 中法求新機器輪船製造廠) 上海	Grand Garage Français (法大汽車行) 上海	Société Franco-Chinoise Distillerie de Hankou (康成造酒廠) 本店 巴里 支店工場 漢口	Foncière et Immobilière de Chine (中國建業地產公司) 上海	Société Français des Charbonnages du Tonkin (鴻基煤鑛公司)

ア系文化事業 (1937年)

生徒數	社會事業 種類	院數	收容人員	圖書館・研究所 名稱	所在
363人	孤兒院	94	8,579	震旦大學圖書館	上海呂班路
759〃	養老院,病院	82	67,637	徐家滙藏書樓	上海徐家滙
708〃	遺棄兒童保護		24,347	徐家滙天文臺	同上
67〃				震旦大學博物館	上海呂班路
408〃				北疆博物院	天津特一區
395〃				徐家滙博物館	上海徐家滙

一般文化事業

團匪賠償金關係	佛工部局關係		新聞・雜誌	
中法教育文化基金委員會	教育事業		新聞	2種
自辦事業	佛國人學校	5校	Le Journal de Pekin	
北京中法大學	支那人學校	3校	Le Journal de Shanghai	
巴里中國學院	病院	2院	雜誌	1種
里昂中法學院	衛生試驗所	1所	Revue Nationale Chinoise (宗教新聞雜誌)	
中法文化交換出版委員會			イエズス會々報其他多數	
補助事業				
委員會決議ニヨリ毎年決定				

リーマー調査佛國舊教布教財產 (1930 年)

上海	19,787,200 弗
天津	1,200,000 〃
漢口	00,000 〃
廣東	200,000 〃
計	21,707,200 弗

Book, Finance and Commerce, China Hong-List, Shanghai Directory, Foreign Investmen's in China (Remer); 滿洲及中華民國在留本邦人及外國人人口統計表, 滿洲及支那ニ於ケ文化機關要覽, 支那航運 (日本郵船會社), 中國實業名鑑, 支那年鑑; 中國外債彙編, 上海主銀行, 上海工商業彙編, 中國海關貿易統計, 全國銀行年鑑等

外務省通商局

昭和十五年六月十九日印刷
昭和十五年六月廿二日發行

定價貳圓貳拾錢

編輯兼發行者　土谷正千代　東京市中野區新井町五三八
印刷者　中川二郎　東京市芝區南佐久間町一ノ七
印刷所　研文社　東京市芝區南佐久間町一ノ七

東京市麹町區丸ノ内二ノ十二
社團法人　日本國際協會
振替東京五五一八三番
電話丸ノ内四六六四番

發行所

不複製許

佛國對支經濟勢力の全貌

日本國際協會叢書第二百十九輯

新刊

外務省通商局編纂

米國對支經濟勢力の全貌

東京市丸の内二ノ十二
振替東京五一八三番
日本國際協會發行
菊判 二一八〇頁
定價 二圓五十錢
送料十四錢

第一章 序說
一節 米國對支經濟進出の沿革
二節 米國對支經濟勢力の概況
一 支那在留米國人人口
二 在支米國系商社
三 米國對支投資額
四 米支貿易額
五 支那各港出入米船舶噸數
三節 米國對支經濟勢力の性格
一 政治的背景の稀薄
二 發展的門戸開放主義
三 支那の自主權承認
四 貿易本位
五 文化事業の重要性
六 滿洲に對する特殊關心
第二章 工業
一節 沿革
二節 製造工業の現狀
三節 電氣事業
第三章 貿易
一節 米支貿易の沿革
二節 米支貿易の現狀概說
三節 米支主要貿易商品檢討
四節 米支間貿易上の收支
五節 支那事變後の米支貿易
第四章 交通及通信
一節 鐵道
二節 航運
三節 空運
四節 通信
第五章 金融
一節 金融機關及投資機關
二節 支那幣制と米國
第六章 投資及借款
一節 投資活動の沿革竝現狀
二節 米支主要貿易商品檢討
第七章 文化事業投資
一節 宗教的文化事業投資
二節 非宗教的文化事業投資
附錄 米國對支經濟勢力一覽表

791
137

15年 11月 10日 119

閲覧済